

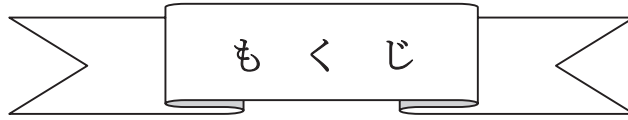
甲南大学経済学会



入門

の 2016-甲南大学経済学部

しおり



まえがき	1
I 経済学部へようこそ	3
甲南大学経済学部 新入生のみなさんへ 経済学部長 小山直樹	5
各経済学部教員（五十音順）	6
II 経済学部の先生方に質問（五十音順）	29
III 新入生へのメッセージ	79
「新入生の皆さんへ」 菊池敬介	81
「自分の意志を見つける大切な時期」 岩渕祥太	82
IV 新入生のみなさんへ	83
甲南大学経済学会について	85
経済学会学生懸賞論文 執筆マニュアル	88
V 甲南大学経済学会会則	91
総会規程・評議員会規程	93
卒業生会員細則	94

まえがき

入学生のみなさん、甲南大学経済学部へのご入学おめでとうございます。みなさんは、本学に入学し、経済学部生となると同時に、規約によって、《甲南大学経済学会》の会員となることになっています。みなさんが手にしたこの小冊子は、新入生を対象として作られた経済学部への案内書です。

この小冊子は、みなさんが経済学を学んでいく実際のある場を構成する甲南大学経済学部の教員、学生、そして、卒業生の方々の声で「経済学とその周辺を語る」という内容になっています。新入生のみなさんは大学に入学したばかりでまだ経済学部のことがよくわからないと思いますので、この冊子を読んでぜひ参考にさせていただければと思います。

『Ⅰ 経済学部へようこそ』では、経済学部の先生方に様々な視点から、新入生の皆さんへメッセージをいただいています。先生ならではの経験から得た言葉が、皆さんのこれから始まる大学生活の糧になればと思います。

『Ⅱ 経済学部の先生方に質問』では、経済学部の先生方から、素朴な質問に対する答えをいただいています。このページを見ることで、甲南大学経済学部の先生がどんな方々であるのかということが少しはわかるのではないのでしょうか。「あの先生がこんな回答をしている」といった意外な発見ができるかもしれませんし、講義やゼミナールを選択する際の参考になるかもしれません。

『Ⅲ 新入生へのメッセージ』では、甲南大学経済学部を卒業された方々からメッセージをいただいています。みなさんの先輩方はどのようなことをおっしゃっているのでしょうか。

『Ⅳ 新入生のみなさんへ』では、「甲南大学経済学会」という組織について紹介しています。甲南大学経済学会とは、経済学部の教員・学生・卒業生が対等の権利を持って運営している自治組織です。新入生のみなさんの中には、「経済学会という組織はまだ何のことかわからない」という人が多いかもしれません。そこで、「経済学会ってなんだろう？」というみなさんの疑問に対して、経済学会の具体的な活動やみなさんの交流の場である「経済コモンルーム」についても紹介しています。

はじめから読んでいく、好きなところだけ読むなど、利用方法はみなさんの自由です。この小冊子がみなさんの大学生活の手助けになれば幸いです。

2016年4月

甲南大学経済学会
評議員編集委員一同

経済学部へようこそ！

小山 直樹先生	5	高 龍秀先生	17
青木 浩治先生	6	小林 均先生	18
足立 泰美先生	7	杉村 芳美先生	19
石川 路子先生	8	柘植 隆宏先生	20
石田 功先生	9	筒井 義郎先生	21
市野 泰和先生	10	寺尾 建先生	22
稲田 義久先生	11	中島 清貴先生	23
上島 康弘先生	12	林 健太先生	24
永廣 顕先生	13	平井 健介先生	25
岡田 元浩先生	14	村澤 康友先生	26
奥田 敬先生	15	森 剛志先生	27
春日 教測先生	16	森本 裕先生	28



甲南大学経済学部 新入生のみなさんへ

経済学部長 小山 直樹

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

これから卒業まで、みなさんは大学生（甲南大経済学部生）として過ごすこととなります。1年次生（1回生）の間は、見るもの、聞くもの、あらゆることが未体験という生活が続くでしょう。2年次生（2回生）になれば、甲南大生としての自信と自覚を身に着けていることと思います。また、3年次生（3回生）・4年次生（4回生）の頃には、世の中における自分の立ち位置を考え始めることでしょう。みなさんの先輩たちも皆、そうやって少しずつ成長していきました。試行錯誤、切磋琢磨、大学生としての毎日はそうしたことの連続となるでしょう。しかし、それが普通のことなのです。

経済学部生として心がけていただきたいのは、まず、自分のごく身近なことだけでなく、広く世間で起きている様々な出来事にできるだけ関心を持つことです。己が見聞きできる範囲の経験だけから知ることができるのは、広い世間で起きている出来事のほんの数パーセントに過ぎません。自分を取り巻く経済社会をしっかりと理解するには、身近な経験だけでは到底足りません。こうした不足を補うためには、新聞やテレビのニュース、その他のレポートなどから有用な情報を幅広く知覚していく必要があります。

私を含めて経済学部のすべての教員は、みなさんの経済学部での学びをしっかりとサポートしていきます。わからないことがあれば、いつでも気軽に尋ねてください。新入生のみなさんが甲南大学経済学部で有意義な時間を過ごし、夢を掴むために、大きな成長を遂げうることを心から祈っています。

新入生の皆さんへのメッセージ

青木 浩治

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはどのような抱負を持って入学されましたか？あれもこれもとやりたいこと一杯の人から、まだ何も決めていない人まで様々でしょう。しかし、まずやるべきことは友達作り。この作業に失敗すると、大学4年間はずまらない時間となり、大学生生活不適応者に陥ってしまうと言っても過言ではありません。

第二に強調したいことは、大学4年間はあっという間に過ぎてしまうということです。このことはみなさんの先輩が異口同音に言っていること。言い換えれば、大学生活はとても楽しく、おそらく人生において最も有意義な期間だということです。そのための仕掛けが大学にはあちこちに用意されています。なにもせずボーっと4年間を過ごした人は社会に入る手前でイエロー・カード、場合によってはレッド・カードが突き付けられます（その意味はやがて分かってきます）。意識して「大学でこんなことした、あんなことした」と胸を張って言えることを見つけて下さい。ただし、アルバイトはほどほどに……。

第三に、当然のことなのですが、自分の規律付けを怠らないようにしましょう。これまで親や先生の言われる通りしていればよかった時期はもうおしまい。大学では所定単位の修得以外に学生に課される制約は特にありません。その意味で自由なのですが、同時に選択の結果に対する責任を強く要求されます。自由には責任がついて回ることを意識しましょう。その訓練をする場が大学生活です。そして第四に、社会常識を付けること。犯罪行為は論外として、やってよいこととそうでないことのケジメを付けるようにしましょう（喫煙マナーがその一例）。

いずれにせよ、皆さんの4年間に有意義であることを切に願っています。

新入生の皆さんへのメッセージ

足立 泰美

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆さん4年間の大学生活、これまでの学業生活とは異なる点が幾つもあります。その1つがスケジュール管理です。今までは、学校から決められた時間割りをこなす毎日だったのではないのでしょうか。1時間目は数学、2時間目は国語といった時間割りが既に組まれた小学校、中学校そして高校生活。しかし大学生活は違います。スケジュールは真っ白です。その白紙のスケジュールに、自分だけの予定表を創り出していきます。

まず受講科目の登録が最初にあります。学士を取得するために、最低でもどの科目を、何単位履修しなくてはいけないのか、1年目には何を修めておかねばならないのか、2年目にはどの科目を選択しておくのがよいのか、3年目は1年目と2年目で培われた知識をどう発展させていったらいいのか。シラバスを読み進めながら大学の所定の規定を理解し、興味のある科目、勉強してみたい科目もしくは単位のとりやすい科目を調べ、選択し、そして自分だけの唯一の時間割を作成します。その時間割を踏まえて、アルバイトや多様なサークル活動などのスケジュールを入れていきます。

一日、一週間そして一月、自分が決めたスケジュールで生活を繰り返し送り、大学生活から就職に視点を向ける時には、この時間の積み重ねが、おもいおもいの力となります。そこには一日24時間という制約された条件のなかで、自分の拘子定規で何に時間を投入するかを選択し、一定の成果を見いだそうとします。つまり、自分の選択が大学生活4年間の学業の蓄積と多様な見識となり、将来への道に繋がる原動力となります。

どうぞ新入生の皆さんが、この4年間を有意義に過ごし成長することを切に願っています。

自由になること

石川 路子

大学に入学し、新たなスタートを迎えた皆さんは今どのような気持ちを抱いているでしょうか。期待に胸を膨らませている人もいれば、多少の不安を感じている人もいるかもしれません。ただ、みなさんに共通して言えることは、これまでの生活に比べ、すべての人がより多くの「自由」を手に入れることになること。どんな授業を取るのか、どの部活・サークルに入るのか、そしてどんな友人と過ごすのか、すべてはみなさんに任されています。大学で過ごす日々は人生の中で最も自由に生きることのできる貴重な時間と言えるかもしれません。

ところで皆さんは、今、勉強をするか、遊ぶかという2つの選択肢が与えられた時、どちらを選ぶでしょうか。ほとんどの人が「遊ぶ」を選択するかもしれませんね。経済学では、人間は複数の選択肢が与えられた場合、その選択肢を選ぶことによって得られる利益（お金だけではなく、楽しい気持ちも含まれます）と費用（もちろん嫌な気持ちも費用です）を瞬時に計算し、利益から費用を差し引いた、純利益が高い方を選択していると考えます。すなわち、上の2つの選択肢で「遊ぶ」と答えた人は、遊ぶことによって得られる純利益の方が、勉強をすることによって得られる純利益を上回ったから、ということができのです。

では、この質問を「今」ではなく「試験前」に聞かれたらどうでしょうか。「遊びたいけど、試験があるから」といった理由で勉強することを選択する人が増えるでしょう。実は人間はその時に得られる利益だけではなく、将来得られる利益も考えて行動しているのです。

大学に入学すると、自由になる分、選択の機会が増えていきます。この時に必要なのは将来の目標です。目標がなければ目先の利益だけで判断してしまいがち。目標に向かって今の自分の選択肢を決めることで、将来さらに自らの選択肢を増やすことができるのです。みなさんがさらに大きな自由を手に入れることができるよう、充実した大学生活を過ごされることを願っています。

大学での「研究」

石田 功

大学での学業はこれまでとはどう違うのでしょうか？いろいろありますが、ひとつには大学では「研究」のウェイトが大きくなることがあげられます（いきなりではないですが上級生になるにつれ）。国語辞典で「研究」を引くと、

1. 物事を学問的に深く考え、調べ、明らかにすること。
2. 単に、調べること。

とあります（岩波国語辞典第3版より。私が付番）。例えば、これまでも「夏休み自由研究」で何かのテーマについて本やネットで詳しく調べるといふ課題には皆さんも取り組んだことがあるでしょう。そこでもテーマや教材の選定等、主体的な学習が求められ、特定の知識自体の習得よりも、知識を得るためのスキルの習得が目的だったと思いますが、上記2の意味での「研究」とどまる場合が多かったのではないのでしょうか。

一方、大学でいう「研究」は1の意味での研究になります。大学の使命のひとつには「知のフロンティアの拡張」があります。つまり、研究により、これまで誰も知らなかった新たな事実の発見や新たなものごとの見方を蓄積することです。それは「人類の財産」としての蓄積の作業で、厳格な科学的手続きに従うことが求められます。単に自分自身の知識を増やすための学習（インプット）ではなく、知の生産（アプトプット）活動なので、2の意味での研究とは発表の仕方も違ってきます。皆さんの2年次後期以降の少人数クラスのゼミでの「研究」が1の意味での研究であることは言うに及びませんが、ひとつの科目の簡単なレポート課題であっても1の意味での研究の準備だと理解できれば取り組み方も全然違ってきます。早い段階で「学生の研究＝2の意味」の刷り込みを捨てて、「学生であっても研究＝1の意味」に意識を移行させることが出来れば、4年間の学業もより充実したものになるでしょう。

皆さんの先輩が取り組んだ研究の具体的な内容については、甲南大学経済学会ホームページの学生論文やゼミ大会のページを読んでみて下さい。

僕らはどんどんダメになる？

市野 泰和

2006年12月12日、読売新聞から配信された記事をちょっとだけ引用します。

「各地の公立図書館で、雑誌などから写真や記事を切り取ったり、専門書に蛍光ペンで線を引いたりするなど、図書を傷つける行為が増加している。(中略) 公共の財産を傷つけてはいけないという最低限のルールを破る行為の横行に、図書館側は『社会全体のモラル低下の表れでは』とため息をついている。」

この記事で図書館の人たちが嘆くように、社会全体のモラルは、低下してきているのでしょうか。時代が進むほど、人々のモラルは低くなるのでしょうか。って、そうだとすると、昔の人は、今よりもずっと徳が高かったということなのかな？ 縄文時代の人とか。土器？ どんどんあげちゃうよ、いくらでも持ってっちゃっていいよ、なんてね。まあ、縄文時代の話はさておき、僕らは、どんどんダメな人になっていってるのでしょうか。そうなら、それはとても悲しいことですよ？

なので、ここはひとつ、そうじゃないかも、と考えてみましょう。社会全体のモラルはまったく低下していない、と想定してみましょう。それで、「図書を傷つける行為が増加している」という現象を説明することはできないのでしょうか。

例えばこんなの。「公共の財産を傷つけてはいけないというルール」を守れない人は、残念ながら、いつの時代も人口の一定割合はいます。もしかしたら、最近の図書館は、昔の図書館よりも、そういう人々を図書館に来さしてしまうようなものになってしまっているのかもしれませんが。あるいは、図書館に来る人々のタイプは昔と同じとしても、最近の図書館では、昔の図書館よりも、「公共の財産を傷つけてはいけないというルール」を守らせるようなしくみが、うまく機能していないのかもしれませんが。つまり、変わったのは人々のモラルではなく図書館だったとしても、「図書を傷つける行為が増加している」という現象は説明可能なのです。

人々の性質が変わったから、という理由で、人々の行動が変わったことを説明するのは、とにかく簡単です。そんなの、いつでもできます。だからこそ、そういう説明は、できる限りしないでおきたいのです。最後の手段にとっておきたいのです。人々の性質ではなく、人々を取り囲むもの、環境で、何か変わったものはないかを考えてみましょう。それで、人々の行動の変化を説明できないのでしょうか。正しいか間違っているかはさておき、つねに、人の内側ではなく、人の外側に、行動の変化の理由を求めること。これが、経済学の基本的な態度です。

2014年版：訪日外国人の消費と関西経済

稲田 義久

昨年は本エッセイで 2013 年の訪日外国人の消費と関西経済について書いた。本年は 2014 年と 2013 年を比較し、特徴を見ていこう。

昨年と同様に関西産業連関表を用いて、関西各府県への訪日外国人旅行（インバウンドツーリズム）による所得や雇用への効果や寄与度を推計した。関西経済全体における効果を要約すると、訪日外国人消費は 13 年の関西の域内総生産（GRP）を 0.33%程度、14 年の GRP を 0.46%程度押し上げた。年々関西におけるインバウンドツーリズムの影響力が高まっており、関西の成長牽引産業と期待される所以であることがわかる。

14 年について比較すると、GRP への寄与の順は京都府、大阪府、和歌山県、滋賀県、兵庫県、奈良県となっており、注目すべきは兵庫県と滋賀県の順位が入れ替わったことである。14 年、滋賀県で訪日外国人数の増加に寄与したのは、台湾である。積極的な誘致活動が成功したものと思われる。兵庫県は神戸市を中心としてもともとツーリズムではブランド力を持っていたが、最近では相対的にブランド力を失っているといわれているが、それがこの結果に現れていると思われる。

今後もこの成長トレンドが続くと想定してよいのであろうか。2013-14 年の比較分析で分かったことは、関西への訪日外国人の流れは、これまで大阪、京都から周辺の滋賀、和歌山、奈良へと広がったことであった。このため、大阪や京都のホテル稼働率は高水準で推移し、宿泊単価も上昇している。14 年は既存の観光都市の宿泊インフラの供給制約が目立った年ともいえよう。この供給制約に対して具体的な対策を打たない場合、宿泊コストが高騰しやがて観光客に敬遠されるであろう。宿泊設備はホテルだけではなく客層のニーズに合った設備を整備供給することが緊急課題であろう。関西圏または広域関西圏が一体となって観光客の流れをスムーズな好循環にすることも重要である。ブームを確実なものとするためにも、各府県のハード・ソフト面での工夫が必要である。このような努力により、インバウンドツーリズムの着実な底上げが期待できるといえよう。

リトマス試験紙

上島 康弘

先日、「100分de名著」というテレビ番組のなかで、作家の小川洋子さんがアンネ・フランク『アンネの日記』を紹介していた。オランダでナチスのユダヤ人狩りにおびえる暗澹^{あんたん}たる話だと思っていたが、実は思春期にある女の子の成長記録だと言う。本を買ってページをめくると、たしかに、アンネがペーターと恋に落ちて、初キスをして、微妙な距離を感じるまでの心のうちが吐露されている。印象的だったのは、父親に対するアンネの感情である。13歳のころは「ママなんかよりパパのほうがずっと好き」だったのに、15歳になると「ひどく煩わしく感じる」存在へと落ちぶれる。年頃の娘をもつ父親には必読書である。

私の関心は、人の心の動きにある。気高く自立した人が困難な境遇でどう考えるのかは、文字にしてもらわないと分からない。シャーロット・ブロンテ『ジェーン・エア』は読み返す本の一つだが、通勤途中でふたたび夢中になり、淀屋橋のベンチで読んでいたら講義に遅れた。目の前を行きかうサラリーマンやOLよりも、19世紀のイギリスで貧しい孤児院に入れられた女の子に感情移入するのはなぜだろう。人間の本性にひかれる。とは言え、シャーロットの妹エミリーの書いた『嵐が丘』では、ヒースクリフのストーカー行為にたじろいだ。

ジェイン・オースティン『自負と偏見』も再読する本の一つである。西欧人は人の気持ちにうといと言うが、これは市井の人たちの心情を的確に描いて読者を笑わせる。おそらく世界で一番読まれた小説だろう。私はこの本をゼミ生にすすめるが、精神的に成長した学生からは例外なく「おもしろかった」という感想が返ってくる。作者は、20歳代前半のときにこれを書いた。オースティンの本は、自分が大学生にふさわしい内面をもつかを知るリトマス試験紙である。

フランク・マコート『アンジェラの灰』はだれでもたのしめる。1930年代のアイランドで、飲んだくれの父親と生活に疲れた母親のもとで小学生として生き抜いた回想録である。貧しさと病のなかで兄弟姉妹を失う悲惨な日々にもかかわらず、腹の皮がよじれるほど笑えるエピソードが満載である。読んでみると、著者の言うように「裕福な子供時代には何の意味もない」と本当に思えてくる。

もう一度、学生時代にもどれるならば、授業のほうは興味のもてるものに限って、たくさんの本を読んで、作者の生地や話の舞台を旅したいと思う。

※) 私のお気に入りの本をコモンルームの教員用の棚に置いています。1か月間程度でしたら、自由に家に持ち帰って読んでいただいてOKです。

「経済を学ぶ」ということ

永廣 顕

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんはこれから4年間、経済について学んでいくことになりますが、そもそも経済とはいったい何なのでしょう。

私たち人間（ヒト）は、生きていくために必要な財やサービス（モノ）をつくらなければなりません。現代においては、家計（個人）が企業に労働や土地を提供し、企業がモノを生産しています。家計は企業から受け取った賃金など（カネ）でモノを購入し、それを消費して生活しています。この状況を「市場経済の成立」と言いますが、市場経済はいつもうまく機能するわけではなく、程度の差こそあれ混乱が生じることがあります。そこで、政府が家計と企業をまとめて市場経済を統治しています。この政府の活動を「財政」と呼びます。このように、経済とは、人間が生きていくための活動であり、それをめぐる家計・企業・政府の相互関係にもとづいたヒト・カネ・モノの動きなのです。すなわち、私たち人間の生活の営みそのものなのです。

したがって、「経済を学ぶ」ことは「生き方を考える」ことにつながると言ってもよく、「生き方を考える」ためには経済について幅広くしっかりと勉強しておくことが必要となるのです。それは、これまでの受験勉強のように正解とされていることをただ暗記するだけではなく、自分が置かれている現在の状況と自分が進もうとする将来の目標に即し、自分にとって何が正解であるのかを追究し続けるということなのです。

もちろん、大学生活においては、勉強がすべてではなく、クラブ・サークル活動やアルバイト、ボランティア活動やインターンシップ、さらには就職活動なども重要であることは言うまでもありません。これらの活動から学ぶことがたくさんあるのも事実です。しかし、経済について体系的に勉強する機会を大学以外で得ることは難しいでしょう。自分の興味や問題関心から専門的な勉強を思う存分できるのは大学での4年間だけなのです。しかもその4年間はあっという間に過ぎてしまうのです。

大学生活のスタートラインに立ったみなさんが、有意義な4年間を過ごせることを心から願っています。

学生生活の最終段階に達したみなさんへ

岡田 元浩

甲南大学経済学部入学おめでとうございます。さて、おそらくみなさんの大半にとって「甲南大学経済学部卒業」が最終学歴になることでしょう。つまり、甲南大学での学生生活を完了すれば、みなさんは社会人として巣立っていくということです。ひとたび社会人としての生活が始まれば、みなさんを待ち受けているのは、俗に世間の荒波と呼ばれる厳しい現実です。社会人になったからといって、ご家族をはじめ、それまで皆さんを守り育ててきた人々の支えがいきなり断ち切られるわけではありません。しかし遅かれ早かれみなさんは、矛盾や悲痛、その他あらゆる困難に満ちた世の中を自らの力によって生き抜かねばならぬこととなります。だからといって、私たちが自分1人の力だけで生きることは不可能です。そこで肝腎なのは、強い自立心と正しい認識に立つ他者との協同精神です。甲南大学での学生生活でみなさんに身につけてほしいと思うもの、というよりも身につけるべきものは、つまるところ以上の点に尽きる、というのが私の思いであり、この観点から実際にみなさんと接するよう努めています。私がこう記すと、社会人としての準備が大事だというのであれば、何より就職だ、学業より就職準備優先で1年生時から臨むべきだ、と解釈する人がいるかもしれません。しかし、それはあたかも、もろい土台の上に家を築くようなもので、一時的にはうまくいっても、やがてはくじかれる破目になるでしょう。就職を含むみなさんの将来のためにも、まずは日々の学業を地道に修め、さらには課外活動をはじめ大学時代ならではの体験に打ち込んでください。

講義の単価？—エレガントな答案を求む—

奥田 敬

【設問】

大学における1コマ90分の講義の(学生にとっての)単価を算出せよ。
ただし、単純化のため、4年間の学費総額は教科書代も含めて400万円とし、その間の生活費や、働いていれば得られた収入は度外視する。

【解法1】

全く無駄なく、最小費用最大便益(?)で卒業を目指す。
卒業所要単位数は128単位であるから、
1単位あたりの単価は、 $4,000,000 \div 128 = 31,250$ (円)
半期15週で2単位なので、
 $31,250 \times 2 \div 15 = 4,166.66\cdots$

答え 約4,200円

【解法2】

もったいないから(単位制限とは関係なく)聴講しまくる。
1週間30コマならば通年で
 $30 \times 15 \times 2 = 900$ (コマ)だから、
 $4,000,000 \div (900 \times 4) = 1,111.11\cdots$

答え 約1,100円

【解法3】

4年分の在籍料と割り切り、出席は(留年も)気にしない。
1日あたりの在籍料は、
 $4,000,000 \div (365 \times 4) = 2,739.72\cdots$ (円)
90分あたりに換算すると、
 $4,000,000 \div (365 \times 4) \div 24 \times 1.5 = 171.23\cdots$

答え 約170円

(さて、あなたはどれを選びますか？ 別解があればお知らせください。)

「常識」を疑ってみよう

春日 教測

私が高校生の頃を振り返ってみると、教科書はほぼ正しいもので、特に疑うこともなく文章や数式を理解し、また史実や言語を暗記し忠実に再現することが、学校での主要な課題だったような気がします。でも注意してみると、実際の世の中には不思議な記述や「常識」と異なる現象が多いことに気がつきます。

例えばサッカーの試合で「エースストライカーが点を入れた試合は負けない」という『神話』が紹介されることがあります。ですが、誰の得点であれサッカーの試合での1点は非常に大きい意味を持ちますから、その時点で既に1点獲得しているチームの勝率が高くなるのは、それほど不思議なことではないのではないのでしょうか。またある医療ドラマでは、急患死亡率0%の病院Aと50%の病院Bあり、実際にその病院を知る患者が信頼しているのは病院Bだという事例が描かれていました。一見すると不思議な現象ですが、実は病院Bではどんな患者でも最後まで救命に尽力する姿勢なのに対し、病院Aでは重症度が高く死亡率の高そうな患者の受け入れを徹底的に拒否しているためだという内容を見て、視聴者は納得することになります。大人気漫画ワンピースでは、時に「行き過ぎた正義」を行使する赤犬元帥率いる海軍と、破天荒ですが世間のしがらみにとらわれず自分の感情に素直に行動するルフィ率いる「善良な」海賊団が描かれていますが、こうした「常識」とのギャップも、大きな魅力の一つになっていると言えるでしょう。

経済学に代表される社会科学を学ぶ者として、このような「常識」を疑う目を持ち、常にいろいろな解釈や別の捉え方を考えてみるのが、最も大切なことだと個人的には考えています。いわゆる「ツッコミの文化」を有する関西圏で生活する我々は、経済学、ひいては社会科学全般に携わるのに向いているのかもしれませんがね。皆さんも、周囲の出来事に絶えずツッコミを入れる習慣を、是非身につけてください。ただやりすぎると疎まれるので、くれぐれも周囲の空気を読むことを忘れずに！

新入生のみなさんへ

高 龍 秀

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんを心より歓迎します。新入生になってみなさんは多くの夢と希望を持っていることと思います。大学に入ってその夢に一步步近づいてほしいと思います。

大学に入って、まず、世の中で起こっていることに関心を持って下さい。日本では 2011 年に大震災と原発事故があり、その後もなかなかデフレ・不況から抜け出せない状況にありました。2012 年末に安倍政権が発足し、「アベノミクス」の名の下に日本経済をより良くするための政策がいろいろと議論され実行されています。どのような経済政策を行えばこのデフレを克服することができるのでしょうか。みなさんが就職活動をする頃には日本の景気は良くなっているのでしょうか。世の中を見渡せば、このような複雑な問題がいっぱいあります。それは仕方ありません。私たちの住んでいる現代社会がとても複雑だからです。

みなさんが入った経済学部ではこの複雑な現代社会について、入門的な課題から 1 歩ずつ学んでいきます。みなさんの勉強の対象となる現代の経済は複雑ですから、「答えを簡単に求めない」ことが大切です。大学受験までは、「1 つの決められた答えにいかにか早くたどり着くか」という勉強スタイルだったと思います。例えば社会系の科目では「覚える」科目が多かったと思います。しかし最初に述べた現代経済の問題では、答えは決まっていないものもあります。また、答えが 1 つでないものもあります。ですから大学では、基本的な事実を「覚える勉強」とともに、その知識を武器により複雑な現象を論理的に考えていく勉強をしなければなりません。そのような勉強を 2 年生以上のゼミナールなどの科目で行うこととなります。そこでは答えを簡単に「見つける」勉強ではなく、これまで学んだ知識をもとに時間をかけて「より深く考える」勉強が求められています。

みなさんの努力次第で「深く考える力」が付き、大学卒業までの 4 年間で大きく視野が広がることと思います。そのことで、「いい就職ができる力」という次元だけでなく「この社会を生きていく力」をつけることができるはずです。大きな可能性がある未来に向かって頑張ってください。

経済学部で学び、経済学部で教える

小林 均

大学は経済学部で、大学院も経済学研究科でした。なぜ経済学部へ進学したか、と言えば、「経済がすべての基本という考え方」がおぼろげにあったと思います。それは、小学校の頃、高度成長が始まり、高校1年の年、東京でオリンピックが開催され、それ以前の生活との違いを体感していた、からだと思います。高校に進学し、「政経」「倫理社会」の授業で、「経済学」の言葉の意味を知ったことも、重要な要因と考えます。

「経世済民」「経国済民」、すなわち、「世の中を治め、人民の苦しみを救う」、「国を經營し(治め)、人民の苦しみを救う」に魅力を感じたからです。皆さんは、経済学部に入學し、マクロ経済学、ミクロ経済学を学びますが、経済学の歴史や私の大学時代を振り返ると、いまでは一般的な「マクロ」「ミクロ」という表現も、経済学部の学生時代は、まだポピュラーではなかったです。マクロ経済は、所得分析とか、国民所得分析、巨視的経済学、ミクロ経済学は価格理論、価格分析、微視的経済学、と呼ばれ、2009年暮れ逝った、サミュエルソンの「経済学」が双方を扱う、入門的な必須な教科書とされていました。授業では、マクロ経済学の経済成長論が主流で、高度成長とその原因・帰結・代償(公害)を論じる日本経済論が盛んで、資源配分を論じるミクロ経済、厚生経済学、経済政策論はやや後ろに控え、その後の隆盛を待っている時代でした。3年からの専門ゼミは財政の先生で、ゼミではエドウィンキャナン版の「国富論」を読みました。卒論は「社会と個人」というテーマを先生に伝えたところ、結果的に『道徳情操論』を読んでいました。

改めて、経済学とは何か、と問われれば、「多くの人が幸せになること、そのための制度は何か、を考える学問」というふうに捉えています。経済全体の動きを理解することはもとより、「効率性」と「公平性」という判断基準、「費用」と「便益」との関係、といった基本的な視点から、物事を考察する常識的な学問で、この常識に基づいて判断すれば、それほど誤った結果にならないし、この常識で対応できない対象は、別の判断のための道具を準備すればよいと考えています。

新書をバッグに入れて

杉村 芳美

みなさんには読書の習慣がありますか。ある新聞社の読書世論調査によると、「1ヶ月に何冊本を読みますか」という問いに、「読まない」と答える人の割合が、50%を超えるようになっています。この割合をみなさんは高いと思いますか、それとも低いと感じますか。

私も、ゼミがスタートするときに、学生たちに同じ質問をしています。残念ながら、「読まない」という答えの割合は、うえの数字よりもかなり高くなっています。本を読む習慣がないと答えた学生に「いつごろから読まなくなった？」と尋ねると、「中学生くらいから」などの答えが返ってきます。なかには、「生まれつき」という人もいました（子どもの頃に、絵本を読んでもらったことを思い出そう！）。「なぜ読まなくなったのか」を尋ねると、「部活が忙しくなって」とか、「ほかにやることがあるから」などの理由があがります。

「大学生なんだから本を読むのは当然」といった野暮な言い方をするつもりはありません。「読書では時間と空間をこえてさまざまな英知と出会うことができるとか、自ら考え想像し思いをめぐらす時間をもてる」といった効能を言うつもりもありません。

最も伝えたいのは、生活のなかで読書の楽しみをもたないのはもったいないということです。こう言うと、ほかに楽しいことはいくらでもありますという答えがすぐに返ってきそうです。しかし、とにかく読んでみてごらん面白いから、とだけ言っておきます。

読書を楽しいものにするコツは、ただ一つ。面白い本を読むことです。手始めに、本屋にならんでいる膨大な「新書」のなかから一冊を選んでみてください。きっと自分の関心や興味に引っかかってくる面白い本があるはずです。将来の進路を考えるうえでヒントになる本もあると思います。

バッグにはいつも新書が入っている、そんな習慣をつくってください。

環境経済学への招待

柘植 隆宏

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ここでは、自己紹介を兼ねて、私の専門分野である環境経済学についてご紹介します。

環境経済学とは、その名の通り、環境問題を経済学の観点から考える分野です。これからみなさんが勉強される経済学の分析手法を使って、環境問題の原因を探ったり、有効な対策を考えたりします。

経済活動と環境問題は密接に関連しています。私たちは、モノを作るための原材料（例えば石油など）を環境からとってきます。そして、それを使ってモノを作り、消費します。しかし、生産の過程では工場から排煙や排水を出しますし、流通の過程では、運搬用の自動車から排気ガスを出します。消費した後には、廃棄物を環境に排出します。つまり、私たちが行っている経済活動が、資源の枯渇、環境汚染、廃棄物の発生といった環境問題の原因となっているのです。

これまでの経済学よりも分析対象を少し広げて、経済活動を行うために必要となる資源の利用や、経済活動に伴う汚染物質などの排出まで含めて考えるのが、環境経済学です。

経済活動と環境の関係を理解することで、どのようにすれば環境問題の発生を抑えることができるかについても考えることができます。例えば、汚染物質の排出に対して罰金を科したり、汚染物質の排出を減らすための対策に対して補助金を出したりすることなどが考えられます。汚染物質を排出している工場は、汚染物質を出すことでお金を払わなければならないとなったり、汚染物質を出さないようにすることでお金がもらえるようになったりしますので、なるべく汚染物質を出さない努力をしましょう。このように、経済学の発想を使うと有効な対策を提案できる場合があります。

残念なことに、環境問題はますます多様化し、深刻化しています。また、学問としての環境経済学はとても新しい分野です。環境経済学には、未解決の問題がたくさんあります。みなさん、ぜひ一緒に環境経済学を勉強しましょう。

大学の勉強は面白いよ！

筒井 義郎

みなさん、ご入学おめでとうございます。私にとっては、もうはるか昔の出来事になりましたが、今でも、長くつらかった高校3年生の受験勉強と、合格し入学した時の嬉しさは覚えています。私は、受験戦争では敗者で、200名に満たない学年で3年生の間に100番以上も順位を落としてしまいました。志望校もそれに合わせて変えざるを得ず、なんとか引っかけたというのが実情でした。だからと言うものではありませんが(?)、受験勉強には批判的です。あんな単調でつまらないことを一日の大半やっつけていることが優れたことでもなんでもない、というのが持論です。

それに比べると、大学で学ぶことは格段に面白いこと、請け合いです。これまで数千年にわたって、人間が積み上げてきた科学・学問の体系ですから、いくら学んでも底に達しない奥行きをもっているのは当然でしょう。とくに、経済学は一大体系ができていて、しっかりとした基礎から、多方面の応用まで一貫した論理で理解することができます。ほかに比べると若い学問ではありますが、どんどん発展を遂げ、現在も華々しく発展している学び甲斐のある分野です。ここ数十年では、人々が合理的であるという前提で、満足度を最大にするように行動するという定式化を用いることによって、多くの事実や現象を説明できることを示しました。人々の行動だけでなく、社会全体の動きを分析するいわゆるマクロ経済学も、この定式化で記述するのが、最近では標準的になってきています。経済行動だけでなく、結婚や離婚や犯罪といったいろいろな行動まで、経済分析の枠組みで説明できるようになっています。さらに、最近では、「合理性の仮定」をゆるめて、人々がどのように非合理的であるかを究明し、それによって、経済理論をどのように修正しなければならないかを追究する「行動経済学」という分野も展開されつつあります。

経済学部に入学することは、皆さんにとって本当に幸運なことだと思います。この経済学を力いっぱい学んでみませんか。私たちが手助けします。

解脱／解説

てら お たける
寺尾 建

2016年4月。神戸市東灘区岡本で生まれ育ったXさんは、甲南大学経済学部に入學しました。文字通り、地元の大学に通うことになったわけです。

入學してからしばらくの間は、どの授業がどの建物のどの階のどの教室で行われるのかについて、「その時刻になれば、足が自然とその教室に向かう」というようなわけにはいかないでしょう。ですが、「大学にも少しは慣れたかな」と思える初夏の頃には、きっとそのようになるはずで

それと同じ頃には、Xさんのことを“Yちゃん”のようなニックネームで呼ぶ人も出てくることでしょう。しかし、いずれにせよ、Xさんは、教室にいるときには、ただのXさんです。

Xさんは、教室を出ると —— 「経済学部のXさん」になります。
Xさんは、大学を出ると —— 「甲南大学のXさん」になります。
Xさんは、東灘区を出ると —— 「東灘区のXさん」になります。
Xさんは、神戸市を出ると —— 「神戸市のXさん」になります。
Xさんは、兵庫県を出ると —— 「兵庫県のXさん」になります。
Xさんは、日本を出ると —— 「日本のXさん」になります。
Xさんは、アジアを出ると —— 「アジアのXさん」になります。

このように、“外”に出ていくたびに、「〇〇のXさん」の「〇〇」のところが変わっていきます。それは、“外”に出ると、そのたびに、Xさんがつながる人が変わることになるからです。仏教では、そのことを、「六道輪廻」から離れるという意味で「解脱」と呼んでいます——という話を、5年前に、あるインド人から教えてもらいました。

いまから4年後の2020年3月。その前年に甲南は100周年を迎えています。Xさんは、甲南大学経済学部を卒業します。大学を出ることになるわけですが、そのとき以降ずっと、Xさんは、「甲南大学のXさん」となります。

甲南大学の創設者である平生鈞三郎先生は、「世界に通用する紳士・淑女たれ」とおっしゃっています。「世界のXさん」となるためには、世界の“外”に出るほどの大きな「解脱」が必要になるということです。

何かに『なる=become』ということ

中島 清貴

本当に何かを実現したければ、
眼前にある様々な『可能性』を徹底的に切り、
ひとつの『可能性』を突き詰めなさい。
人でありたければ、
切られてしまった可能性に『愛惜の念』をもっていなさい。

学生時代の恩師の言葉です。僕は経済学者としてメシを食べています。別の職業についていたらどうなっていたかなあ、と想うことは今でもよくありますが、とにかく今は経済学者として『生かされて』います。

経済学と言っても分野は広く、ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、金融論、財政学、労働経済学、など数え上げればきりがありません。僕が経済学者として『生かされている』ということは、とりもなおさず僕には専門分野があるということです(ちなみに、僕の専門分野は金融論です)。

つまり、経済学者として『生かされている』ことと引き換えに、僕は自分の専門分野以外の分野を、『好むと好まざるとに関わらず』切ってしまうということになります。経済学者以外の職業の可能性を切り、専門分野に閉じこもりながらその可能性を徹底的に突き詰める努力をすることで、僕は経済学者として『生かされている』わけです。

一方、『経済学者としての可能性』を突き詰めるだけで、『他の可能性』に対する想いや配慮がなければ、僕には『人としての大事な何か』が根本的に欠けていると言わざるをえません。この世には、経済学や自分の専門分野以外にも想いを馳せるべき『様々な可能性』に満ち溢れているからです。

というわけで、甲南大学では、

授業の時間内は『頑固な経済学者』として、
授業の時間外は経済学以外の可能性に想いを馳せる
『気の多い人間』として、

皆さんにお会い出来ることを心から楽しみにしております。

新入生の皆さんへ

林 健太

このたびは、甲南大学経済学部へのご入学、誠におめでとうございます。

皆さんが生まれ育ったこの 18 年の間に、世の中のあり方は大きく変わりました。具体的には、インターネットが普及したことで、コンピュータとインターネットが生活の中心となる、いわゆる「情報社会」へと突入したのです。

情報社会においては、パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器を使いこなし、いかに早く必要な情報にたどり着けるかが勝敗を分けることになります。情報を持つ人と持たない人、あるいはデジタル機器を使いこなせる人とそうでない人との間の格差はますます広がり、特に3年後の就職活動の際には、顕著な差となって現れることでしょう。だからこそ大学生の間に、最低限のスキルとマナーは身につけていただきたいと思います。

また、大学時代というのは、将来どの国でどのように生きていくのかについて、じっくりと時間をかけて考えられる貴重な時期でもあります。様々な情報がインターネットを介して手に入れられるようになりましたが、それでも実体験に勝る情報収集はありません。日本は便利で清潔で快適な国です。しかしながら、その素晴らしさが、この国に住み続けていると、なかなか実感しづらいものです。ぜひ海外留学制度等を利用し、大学生活4年間の半年だけでも外国の空気に触れ、海の向こうから日本を眺めてみてください。きっと新たな発見があることでしょう。もしかしたら、日本の外で暮らす方が自分には合っていると感じることもあるかもしれませんよ。

最後になりますが、人生は楽しんだもの勝ちです。先行きの見えない時代だからこそ、自分が本当に好きなことや得意なことは何かをよく見極め、一人でも多くの方が、その才能を生かした人生を歩めることを願ってやみません。いち早く己を知ること、それこそが情報社会を生きていく上での重要なキーワードだと確信しています。

期待と現実の差を「謳歌」しよう

文責：平井健介

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学生活を楽しみにしている人や、新しいことに取り組もうと胸を膨らませている人も多いでしょう。すでに将来像がある人、たとえば食品流通に興味のある人なら、バイトはスーパー、講義は産業経済などを考えるでしょうか。まだ将来像が見えてない人は、まずは自分の好きなことから始めるのがいいかもしれません。たとえば、私はトイレ空間が好きなので、街に出て「公衆トイレマップ」を作成し、講義は都市経済や経済の歴史などを選ぶでしょうか。

ただし、新しいことを始めた時、事前に思っていた期待と現実は多くの場合、大きく違います。スーパーではレジ打ちばかり、トイレマップはネット上に既にある、都市経済の講義で公衆トイレの話題が出ない、など。

しかし、ここで「期待と違ったからやめよう」と思う人は、そこから成長できません。レジ打ちを通じて数字入力が快感になり、PCで数字入力、さらには図表作成に凝るようになるなど、思わぬスキルアップがあるかもしれません。都市経済の講義で都市政策の話聞いて、「都市政策にとって公衆トイレの意味は？」、歴史の講義で都市化の話聞いて「昔の都市にはなぜ公衆トイレがないの？」など思考を働かせれば、他人のものとは全く異なる、斬新なトイレマップができるかもしれません。

私達は想像以上に現実を知りません。そんな私達が膨らませた期待が現実と異なるのは当然です。「期待と違ったからやめよう」と思う人は、何をしてもその連続で、4年間があつという間に終わります。期待と違う現実に愕然としつつ、歯を食いしばって、その差を「謳歌」してください。卒業する頃には、現在では全く想像できない自分がいることでしょう。

夢八訓

村澤 康友

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

挨拶などでよく引用されるので、聞いたことがある人も多いかもしれませんが、吉田貞雄の「夢八訓」という言葉を紹介します。

夢のある人は希望がある／希望のある人は目標がある／目標のある人は計画がある／計画のある人は行動がある／行動のある人は実績がある／実績のある人は反省がある／反省のある人は進歩がある／進歩のある人は夢がある

「夢」を持つのが難しい時代とされています。夢が見つからなくて悩んでいる人もいるかもしれません。そういう人は、まず「行動」してみましょう。そこから実績→反省→進歩→夢→…という「好循環」に繋がっていくというのが「夢八訓」のメッセージだと思います。

逆を考えてみましょう（吉田松陰の「夢五訓」、渋沢栄一の「夢七訓」はこちらの表現に近いです）。

夢のない人は希望がない／希望のない人は目標がない／目標のない人は計画がない／計画のない人は行動がない／行動のない人は実績がない／実績のない人は反省がない／反省のない人は進歩がない／進歩のない人は夢がない

夢が見つからないと言って何もしないでいると、このような恐ろしい「悪循環」に陥ってしまいます。せっかくの人生ですから、そうならないように気をつけて下さい。

皆さんが4年間の大学生活で様々なことに挑戦し、より豊かな人間に成長されることを祈念します。

経済学部生へ

森 剛志

ハングリーであれ！バカであれ！

若い時代は、「人生まだまだ長い」と思います。大学生になったばかりには、「大学4年間はなんと長いのだろう」と思うでしょう。でも、振り返ると、毎日すぐ過ぎ去ることがわかります。1年生の時間が100とすると、2年生は70くらい、3年生は50くらいで、4年生は20くらいの長さを感じられるでしょう。

大学一年生のときには、できるだけ多くの人と友人になり、仲間作りをして、勉強しやすい環境をつくるといいと思います。

実は、人の幸せはいろいろなところに転がっているものです。学生時代には多くのお金はありませんが、実はそれが幸せだったりします。お金があつて、親から買ってもらった車をみせびらかせて乗りまわっている学生もいるかもしれませんが、決してこのタイプの人が幸福とは限りません。貧しさの中で、清貧を楽しむとき。しずかに読書して、知らない世界に思いをはせるとき。普段のなんでもない生活でも、幸せは数え切れなくあります。

人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを持ってください。そして少しの勇気と情熱を持てれば、さらによいです。私が甲南大学に来ておどろいたことは、ほとんどの空き時間をバイトで埋めている学生が大半だったということです。（それと携帯とテレビ漬けということ。）

彼らは、自分の大切な青春を時給1000円で売っているのです。かわいそうでした。バイトもいいですが、のんびりとした何もない時間を十分つくって、読書と友人や先生との会話をして大学生活を満喫してください。何をしたらいいかわからないのですが、実はやれることはたくさんあります。これから2020年までは日本が絶好調の時代です。

みなさんはラッキーです。ですから、

ハングリーであれ！バカであれ！

未知に挑戦する、大学での学び

森本 裕

みなさん、ご入学おめでとうございます。これからどんな生活が待っているんだろう、どんなことを勉強しよう、とワクワクしていることと思います。

さて、高校までの勉強と、大学の学問はどう違うのでしょうか？一言でいうと、「答えがない問題の解決策を考える」のが学問です。高校までは、教科書の内容を覚えて、それを試験で書けば点数をもらえました。けれども、大学では自分で答えを発見しなければなりません。（誰も、解決策を知らないから。）

- ・日本経済がデフレから脱却するためにどうすればいいか？
- ・どうすれば地方を活性化することができるか？
- ・所得格差をなくす方法は何か？

日本社会は色々な課題に直面していますが、これらに対する処方箋は誰も知らないのです。だから、日本の将来を背負っていくみなさんが、どうすればいいのかを一生懸命考えなければなりません。そのための知識を身に付け、訓練するのが大学での学びです。授業で専門知識を学び、ゼミで先生や仲間と議論して、課題解決力を伸ばしてください。

また、大学の中だけではなく社会や世界を幅広く知ることも大切です。旅行をするもよし、留学するもよし、ボランティアもよし、色々な経験をしてください。必ず将来、役に立つはずです。

もしみなさんが、専門知識と幅広い経験を兼ね備えれば、どんな場所でも生きていけます。大学生活で大きく成長して、日本を、世界を変える人材になってくれることを期待しています。

経済学部の先生方に質問

(50音順)

青木 浩治先生	30	小林 均先生	54
足立 泰美先生	32	小山 直樹先生	56
石川 路子先生	34	杉村 芳美先生	58
石田 功先生	36	柘植 隆宏先生	60
市野 泰和先生	38	筒井 義郎先生	62
稲田 義久先生	40	寺尾 建先生	64
上島 康弘先生	42	中島 清貴先生	66
永廣 顕先生	44	林 健太先生	68
岡田 元浩先生	46	平井 健介先生	70
奥田 敬先生	48	村澤 康友先生	72
春日 教測先生	50	森 剛志先生	74
高 龍秀先生	52	森本 裕先生	76

何でも聞いて
くれたまえ!





青木 浩治（あおき こうじ）

神戸大学経営学部卒

1. 先生の研究テーマは何ですか？

難しく表現すると現代の国際貿易と海外直接投資、および為替レートの理論・実証研究です。まっ、国際経済の何でも屋さんといったところでしょうか。過去 10 年間では躍進著しい中国に的を絞った地域研究も行ってきました。また、最近では「日本円の国際ステータスとその経済的帰結」というとても抽象的なテーマに凝っています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

おもしろいと感じたからです。私の学生時代は現在と真逆で、経営学は全くの輸入学問。面白くとも何ともなく、経済学が光り輝いていた時代でした。ただ「あなたの会社は危ない」の先生は、有名なワリにとってもおしゃべり下手でしたが、面白い講義でしたね。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

老境の域に達したので、これ以上はあまり勉強したいとは思っていません。ただ、ここ数年サイドビジネスとして、「尖閣諸島の領有権を巡る史的研究」には少し関心を以て勉強してきました。漢文があまり読めないのでもちよっと壁に突き当たっているのですが、しかし、結構新しい事実が分かり、その成果をぜひ一度皆さんの前で披瀝してみた

い気持ちはあります。でも、誰も関心を持ってくれそうにないですね。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

だいぶ昔の話で、老境の域に達したせいかな、どうもあまり多くのことを覚えていませんが、1年生の1月の寒い雪の日に、六甲山をはだしで山登りしたことでしょうか。足の裏がべろんべろんになってしまって、這って帰宅しました。わたし体育会系だったもので。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

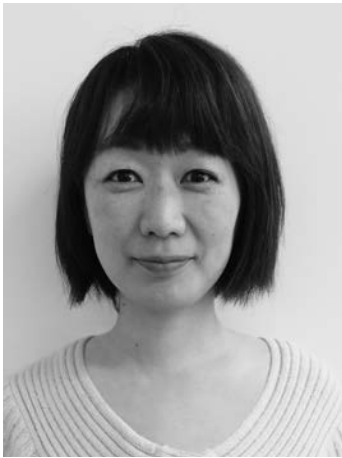
さもない話ですが、わたしインドア派でして、読書か睡眠。それと晩酌を欠かさず。ちょっと老人趣味過ぎますよね。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

私のお勧めの本は抽象度が高すぎて、お勧めの対象となりそうにありません。まず、「ともかく何でもよいから読んでみて」です。

7. 新入生に一言お願いします。

まずは仲間創り。これで大学生活のほとんどが決まります。



足立 泰美 (あだち よしみ)

大阪大学大学院国際公共政策研究科

修士課程修了

大阪大学大学院医学系研究科

博士課程修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

地方財政ならびに社会保障財政です。

学生時代は、保健・医療・介護の実証分析や税・社会保険料のシミュレーションをしていました。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

金銭がなくても一定のレベルの医療が受けられる日本。その国の医療の現場において、医療の通念と社会情勢との隔たりに直面し、経済的な考えが求められていると感じたのが、最初のきっかけです。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

最近、女性の雇用と少子化対策を中心に研究をしています。

4. 大学在学中での一番の思い出は何ですか？

週末の隅田川のブルーテントでのヒアリング、
夏季、春季休暇に訪れていたフィリピンのミンドロ島での健康調査

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

近場のお気に入りのカフェで
山積みの宿題をこなしています。。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

楽しい講義には無駄話がつきものです。酒井康弘著作の「はじめての経済学」は、良い意味での無駄話が満載の本です。それでいて経済学の基本的な概念もおさえられている、バランスのとれたおすすめの本です。

7. 新入生に一言お願いします。

トコトン遊んで、思いっきり勉強してください。そこから失敗と成功を繰り返しながら、自分の限界を感じつつ、自身の得手と不得手を身をもって知ることができます。この「知る」ことの積み重ね、それが自分についての知識になります。将来への道が見えてくるきっかけになります。



石川 路子 (いしかわ のりこ)

神戸大学工学部 環境計画学科

神戸大学大学院 自然科学研究科

大阪大学大学院 国際公共政策研究科

1. 先生の研究テーマは何ですか？

私の専門分野は「地域経済学」です。都市や地域の抱える課題がすべて研究対象になるので非常に幅広い分野ですが、今の私のテーマは生活の質（Quality of Life）の地域間格差の分析です。生活の質が地域によってどのように異なるのか、さらにその差がどのような要因で生まれているのかを明らかにすることで、よりよい地域をつくるための方策を模索・提案しています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

経済学は「幸せについて考える学問」です。経済学で、「人々の幸福度」を測る時には、一般に「所得」を使います。ただ、所得だけで人の幸せが決まるわけではありません。その一つが生活の質なのです。私はもともとハードの側面から都市を分析してきました。私たちの住む都市によって人々の幸せがどう違うのか。どんな都市に住むと人々はより「幸せ」になれるのか。そのような疑問から現在の研究を続けています。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

障がい者の方々の「生活の質」について精緻に研究したいと考えています。障がい者の方々はこれまで社会の中でもマイノリティ（少数者）として扱われてきました。このため、彼らのウェルビーイング（幸せ）

は、主に社会保障制度の充実度で測られてきました。しかしながら、彼らの「生活の質」は、生活の自由度や職の安定性などその他の指標によっても評価される必要があります。何らかの障がいを抱えた人でも満ち足りた生活を送ることができるような社会の形成に、少しでも役立つことができたかと考えています。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

大学は工学部の建築系学科に所属していたので、毎日さまざまな建物の設計に追われていたことが一番の思い出です。本当に大変でしたが、友だちと一緒に夜遅くまで頑張ったことは今ではいい思い出です。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

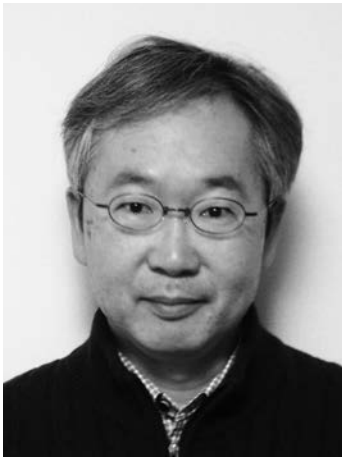
基本的に休日は家でんびり過ごすことが多いですが、たまに野球やアメフト観戦をしています。長期の休暇が取れば、沖縄や海外の海でスキューバダイビングを楽しんでいます。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

私は小説家の伊坂幸太郎さんが好きなので、その中の一冊を。2015年2月に出版された「火星に住むつもりかい？」です。タイトルからは想像できませんが、テーマは「未来の魔女狩り」。途中は、かなり切なく（怖く）なる物語です。「正義とは何か」を改めて考えさせてくれる本です。

7. 新入生に一言お願いします。

これから皆さんとともに過ごせることを本当に嬉しく思っています！残念ながら、4年間は本当にあっという間です。その間に、ぜひ人に誇れる「何か」をやり遂げてみてください。今までやってきたことでも、そして大学から新たに挑戦することでも構いません。それをやり遂げた時、人として大きく成長していると思います。ぜひ皆さん一人ひとりが充実した大学生活を送れますように！



石田 功 (いしだ いさお)

Ph.D. Economics,
University of California, San Diego

1. 先生の研究テーマは何ですか？

金融市場データの統計分析の方法の開発と金融市場の実証分析です。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

証券会社の研究開発部門で市場データの統計分析に基づく資産運用技術の研究やリスク管理システムの開発の仕事に就いたことがきっかけです

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

金融市場データ分析の分野は日進月歩で研究者間の競争も激しいです。既に着手した研究の区切りを早くつけて論文として発表したいとだけ考えています。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

同級生の友達たちとよく朝まで語り明かしたことぐらいですかね。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

映画を見ることが多いです。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

一番「読んでもらいたい」のは入門ミクロ経済学、入門マクロ経済学で指定されている教科書ですね。これだと質問の意図に沿っていないということであれば、知的刺激に満ちたジャレッド・ダイアモンド著『銃・病原菌・鉄』をお勧めします。大学生向け推薦書としてよく取り上げられる本です。2～3時間程度で読める軽めの本としては、ちきりん著『マーケット感覚を身につけよう』を挙げておきます。企業戦略から就活・婚活等の身近なことまでいろいろなテーマについて「マーケット感覚」という視点で語っている本ですが、大学生になったばかりの皆さんにとっては面白いのではないかと思います（個々のテーマについての著者の結論には私は全面的に同意というわけではないですが、ものの見方・考え方についての本として）。

7. 新入生に一言お願いします。

しっかり勉強して下さい。



市野泰和 (いちの やすかず)

Ph.D. (Economics),
Department of Economics,
University of Washington

1. 先生の研究テーマは何ですか？

私の研究分野は、国際経済学とミクロ経済学です。今は、国際貿易が文化の多様性に与える影響について研究しています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

グローバリゼーションが地域の文化を滅ぼす、みたいな言説の妥当性をきちんと検討したくて。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

あります。どのように売買が行われているのかを考慮した市場取引の理論をつくることに興味があります。それから、売買と道德との関係についても研究したいと思っています。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

演劇サークルで、朝から晩まで稽古をしていたこと。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

本を読んだり、演劇を見たり、美術館に行ったり、お買い物をしたりします。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

舞城王太郎『好き好き大好き超愛してる。』講談社文庫

カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』ハヤカワ epi 文庫

伊坂幸太郎『バイバイ、ブラックバード』双葉文庫

7. 新入生に一言お願いします。

みなさんはきっと、大学時代の4年間で、成長したい、大人になりたい、いろんな能力やさまざまな考え方を身につけたい、と思っているでしょう。そのためには、どうぞ勉強をしてください。たくさん本を読んでください。あなたの知っている大人のなかには、「大学時代の勉強なんて何の役にも立たなかった」という人がいるかもしれませんが、気をつけてください、その人はもしかしたら、大学時代に何の勉強もしなかった人かもしれないですよ。

あなたは、自分の成長のために、机に向かって勉強するんじゃなくて、いろんなことを経験したいと思っているかもしれません。でも、自分の持っている時間は限られていますから、そんなに多くのことを経験することはできません。いっぽう、学問には、これまで生きていた人間たちの経験と、それらの経験から彼らが考えたことが整理され分類されてコンパクトにまとめられています。つまり、学問を勉強することは、他の人の経験や考えを自分のものとして取り込むことなのです。勉強は、あなたを成長させる、確実にムダのない、効果的な方法です。あなたの人生を豊かにするために、あなたは、勉強をしてください。本を読んでください。勉強や読書が今後ずっとあなたの役に立つものとなるよう、私たち教員は、大学1年生のみなさんに、他人の経験や考えの中から自分に有益なものを見つけることのできる注意深さと、他人の経験や考えを自分のものと感じることのできる想像力と、他人の経験や考えを自分に取り込むことのできる技術とを与えるような授業をするつもりです。



稲田義久 (いなだ よしひさ)

昭和 51 年 3 月 神戸大学経済学部卒業
昭和 56 年 3 月 神戸大学院
経済学研究科博士後期課程単位取得
平成 4 年 12 月 博士(経済学)(神戸大学)
神戸学院大学、立命館大学を経て現在に至る

1. 先生の研究テーマは何ですか？

経済予測や環境問題の分析です。最近は関西の成長戦略に興味があります。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

経済予測については、経済の先行きについて正確な見通しがないと経済を論じることは困難だと思ったからです。環境問題はやはり地球温暖化の問題がきっかけで研究しようと思うようになりました。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

地元が斑鳩ですので聖徳太子研究と斑鳩地域活性化をテーマにしようと考えています。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

中・高一貫の楽しく、精神的に充実した学生生活を送りましたので、大学時代の前半は社会に出た場合どのようなキャリアを選ぶかに頭がいっぱいでした。後半はそのための準備に時間を費やしていました。ですから大学在学中での一番の思い出といえば、就職が決まった友人をよそ目にひたすら図書館で勉強したことです。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

研究とはまったく異なることに時間を費やしています。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

増田寛也・富山和彦(2015)『地方消滅 創生戦略篇』中央公論社
今話題の書です。前著増田寛也(2014)『地方消滅』中央公論社とともに将来の人口減少が皆さんの住んでいる地域にどのような影響があるかを読み解いてください。

7. 新入生に一言お願いします。

1 回生の時は大学へ行くことが日々の中心となるように心掛けてください。まず講義に出て食堂でランチをとりまた講義に出る生活です。これを繰り返すうちに、多くの友達ができます。様々なタイプの友人作りに心がけてください。例えば、能力ではとてもかなわないが、自己向上には良い友達。発想がよく似ていていろいろなことを議論できるタイプ。卒業を確実にするために必要なタイプ等々。数は少なくてもバラエティーに富んだ友人を作ってください。



上島康弘 (うえしま やすひろ)

一橋大学経済学部卒業, 大阪大学経済学研究科修了.

1. 先生の研究テーマは何ですか？

労働経済学. 経済のしくみのなかで, 給料や勤務時間などの労働条件がどのように決まるのかを考える分野です.

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

いちばん身近で重要な問題だから. しかも, この問いに対する考え方のちがいから, さまざまな学派が生まれましたから.

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

なぜ日本の会社は職業能力のない新卒者を一括して雇うのかを知りたいと思います. サッカーのチームでは選手が辞めたら, 他のチームから同じポジションの選手を引き抜きます. 日本の会社はなぜ二軍の選手を昇格させて, 新卒のユースを雇って教えるのでしょうか.

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

思うままに好きなことを実行しました. 入学式の日には少林寺拳法部に入って四国の本山や信州で合宿したり, 数学と統計学が面白くなって, 休学して図書館に通いました. ゼミ対抗の発表大会では, 幼稚だ

けれど自作の経済モデルを発表しました。とは言え、思い出は一人で勉強したことにはなく、先生や友人といっしょにすごした時間です。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

家でごろごろ、だらだら。ところが、先週の土曜日（12月19日）にはゼミ生に誘われて、甲友会館でのストリート・ダンス部（ジロット）の引退公演を観に行きました。学生のみなさんがノリノリで踊る姿を見て、私までしあわせな気持ちになりました。あと10歳若かったら…

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

新しい学生生活を前にして、パラシオ著『ワンダー』（ほるぷ出版）を読んでほしいと思います。ホントにイケてる人はだれなのか。

7. 新入生に一言お願いします。

私にエラそうなことを言う資格は全くないのですが、授業やサークル・部活でリスペクトできる先生や友人たちに出会って、就職したらリスペクトできる上司や先輩と働いて、プライベートではリスペクトできるパートナーとめぐり合えるといいと思います。やはり、精神的に人と人を結びつけるものは‘徳’だと考えますから。（徳とは、思いやりや正直さ、正義感や責任感、冷静な思考など倫理的な心のはたらきのことで、身近に接すると「いいところがあるなあ」と感じさせる、時と場所を選ばない態度として現れるもの（かな）。）

若いとき、私にこうした考えはありませんでした。けれども、半生を振り返ると、リスペクトした人たちが手本になって、幸せな人生に導いてくれたと感じます。



永廣 顕（えひろ あきら）

東京大学大学院経済学研究科博士課程

1. 先生の研究テーマは何ですか？

現代日本の財政・金融政策の政策形成過程を解明することを研究テーマにしています。現代日本の財政・金融政策の特質は1920年代から戦時期にかけて形成されたのではないかという問題関心があり、大学院時代から研究を続けています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

大学院時代、当初は財政・金融政策の現状分析に取り組んでいたのですが、行き詰まってしまいました。その際、指導教員の先生から歴史分析を勧められ、意外と解明されていない歴史的事実が多いことに気づいたのがきっかけです。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

目の前の仕事をこなすだけで精一杯ですので、そんな余裕はとてありませんが、交通や観光に関わる政策や産業について研究してみたいです。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

一番をあげるのは難しいですが、大学在学中はオリエンテーリングクラブの活動が生活の中心で、週末になると各地の野山を駆け巡っていました。クラブで大会を開催したり、有志でチームを組んで駅伝大会に出場したりもしました。学園祭でクラブの仲間と3日間大学に泊まり込んで準備・運営したこともよい思い出です。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

いわゆる「家族サービス」が中心で、買い物をしたり、ドライブをしたり、掃除をしたり、読書をしたり（マンガを含む）、音楽を聴いたり、スポーツ観戦をしたり、ネットサーフィンをしたり・・・といったところでしょうか。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

池上彰『わかりやすく<伝える>技術』（講談社現代新書、2009年）。相手に物事をわかりやすく説明するためのコツが書かれています。

7. 新入生に一言お願いします。

勉強やクラブ・サークル活動など、「甲南大学」の中で自分の興味、関心を見つけて、4年間それに精一杯打ち込みましょう！大学の授業は難しいと思いますが、前向きに取り組むことでもの見方が広がり、必ず自身の成長につながると思います！



岡田 元浩（おかだ もとひろ）

同志社大学院経済学研究科博士後期課程
中退

1. 先生の研究テーマは何ですか？

経済学の歴史。現在は労働理論・思想の史的展開に関する批判的研究に取り組んでいます。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

当初は文学の道を目指して文学部に進んだのですが、挫折しました。その後の紆余曲折（うよきよくせつ）の中で、何となく経済学史研究の道にたどり着いたわけで、この世界に入る強い動機やきっかけがあったわけではありません。ただ、今では、結果的に自分に合った道に出会えたと、幸運に感謝しています。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

いろいろとありますが、自分の力量や年齢を考えると、現在取り組んでいる研究を自分なりにまとめ上げるだけで精一杯です。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

大学時代のわたしは心の動揺がはげしく、いつも何かに焦り続けながらも、十分な行動を伴わず、結果的にこの場でみなさんに語れるような思い出（良くも悪くも）を創り出すことができませんでした。恋愛、旅行、冒険

的体験 etc.... もっと経験しておくべきでした。大学での日々はかけがえのないものです。みなさんもわたしのように後悔せぬよう、今を精一杯生きてください。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

以前は山登りや自然風景写真撮影によく出かけていましたが、現在は、年齢を重ねて出不精になったのと、十分な余暇時間がないため、せいぜい家で音楽を聴いたり、買い物に出かける程度です。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

夏目漱石『私の個人主義』（講談社学術文庫 1978年）

一生きていく上での迷い、真の個性、個人と国家、といった、誰もが直面する問題に立ち向かうためのヒントを、「国民的文豪」が平易な言葉を用いながら奥深く洞察しています。

7. 新入生に一言お願いします。

「明日死ぬがごとく生き、永遠に生きるがごとく学べ (Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever)」(Mohandās Karamchand Gāndhī)



奥田 敬（おくだ たかし）

1958年生。

慶應義塾大学大学院経済学部研究科博士
課程単位取得退学

一橋大学社会科学古典資料センター助手

1. 先生の研究テーマは何ですか？

「18世紀ナポリ啓蒙」

もう少し具体的かつ現代的に言えば、アダム・スミスから始まる(とされている)のとは違う〈経済学〉の可能性(初心)の探求。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

《一八世紀の最後の四半世紀にいたるまでは、経済学はイタリア人の科学であった。》というシュンペーター『経済分析の歴史』の一節がずっと気に懸かっていたのですが、卒論の対象を絞り込もうとしていた大学3年(1980年)の7月に偶然、洋書店の書棚で Venturi, Franco, *Italy and the Enlightenment. Studies in a Cosmopolitan Century*, New York U.P., 1972に出会いました。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

ナポリに関するあらゆる事柄についても資料はできるだけ集めたつもりなのですが、まだ上のテーマだけで手一杯です。イタリアについても、ヨーロッパについても、世界や宇宙についても、分からないことだらけなのですが……。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

入学早々は、図書館の書庫の隅々まで探索しまくったこと。

(修士に進んでからですが)ナポリへの留学の機会に恵まれたこと。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

好きな本に読み耽っています。

(平日は「読まねば」なりませんので……。)

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

アジア(中国)が気になる人には『論語』を

西洋(アメリカ)が気になる人には『聖書』を

そして経済が気になる人には(マルクスの)『資本論』をお勧めします。

7. 新入生に一言お願いします。

Segui il tuo corso, e lascia dir le genti!

おまえの道をいけ。人々には言わせておけ。

(マルクス『資本論』序文の結句、cf.ダンテ『神曲』煉獄篇 5:13)



春日 教測（かすが のりひろ）

横浜国立大学 大学院国際社会科学研究所
博士課程（産業組織論、経済政策）

1. 先生の研究テーマは何ですか？

産業の競争状況や企業の戦略を、データに基づき実証的に検証することです。テレビや新聞で日常接するニュースで知る内容には、どのような経済合理性があるのか等を考えることは、良い頭のトレーニングになっていると思います。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

もともと企業小説が好きだったことありますが、「必要性に迫られたから」というのが素直な答えです。仕事で金融業や物流業、通信・放送業に関する調査・分析に携わったことがきっかけでした。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

最近いろいろな産業で合併・買収が盛んに行われていますが、その効果について、産業ごとの相違を踏まえた分析をしてみたいと考えています。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

一年次秋の学園祭で出店し、期間中の三夜、寒空のもと交代で屋台番をしながらサークルの友人ととりとめもない話をしたことです（今よりは規則も緩やかでした）。内容は忘れてしまいましたが、自由を満喫している充実感があつたと記憶しています。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

最近ではラジオをよく聞いています。インターネットを利用した radiko で電波状況の良くない都市部でもクリアに聞けるようになりましたし、少額の料金を支払えばエリア外の放送も楽しめるようになりました。テレビよりもややディープなエピソードを聞けるところが魅力だと思います。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

中島敦の一連の著作、「山月記」「名人伝」「李陵」等はいかがでしょうか。ご存じの方も多いかと思いますが、特に漢文訓読調の文章が流麗でリズムが良く、朗読 CD も購入して今でも時々聴いています。文章を書くのが苦手な人は、是非音読してみてください。

7. 新入生に一言お願いします。

大学は一方的に教わる場ではなく、講義に対する質問や意見、ゼミでの議論等を通じて共に学ぶ場でもあります。これから4年間、一緒に経済学を勉強していきましょう。



高龍秀（こう・よんす）

1984年に大阪府立大学を卒業し、1991年
大阪市立大学大学院を修了。

1. 先生の研究テーマは何ですか？

広くみるとアジア経済。その中でもサムスンなど韓国の企業を研究しています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

大学3年の時に読んだ本がショックを受けるくらい感動しました。その先生に学びたくて、大学院を受験しました。その指導教授がとても魅力的な先生で、アジア経済を真剣に学びたいと思いました。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

エレクトロニクス産業では、近年、中国企業の台頭が目覚ましいので、この点を研究したいと思います。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

学生時代は、韓国関連のサークルで毎日のように友達と社会のことを議論し、よく勉強しよく飲みました。一生付き合える仲間と出会ったと思っています。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

映画を見るかスポーツ観戦でのんびりしています。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

文京洙『新・韓国現代史』岩波新書。

現在の韓国のことが分かりやすく書かれています。

7. 新入生に一言お願いします。

大学時代に大切な友達を作りましょう。

授業にちゃんと出て先生の話をよく聞きましょう。

大学時代に打ち込める何かを見つけましょう。



小林 均（こばやし ひとし）

1972年一橋大学経済学部卒業

1978年一橋大学経済学研究科博士課程
満期退学

1998年甲南大学経済学部教授

1. 先生の研究テーマは何ですか？

持続可能な社会保障制度と税制

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

小学校時代、野球好きな教師が『後樂園』の「後楽」の真の意味を教えてください、（住まいが近く、母親から聞いた「貧乏人は麦を食え」と言った）内閣総理大臣池田勇人が高度成長の所得倍増計画をぶち上げ、高校時代の「政経」の授業で「経済学」の意味を知り、軍人上がりの英語の教師に、公立高校であったためか、「君たちは国民の血税で教育を受けているのであるからして、将来国民に還元すべき」と言われ、そして「経済の状態がよいことが人々の幸せにつながる」とおぼろげながら考えるようになりました。経済学部さらに大学院に進み、資源配分の議論が盛んな時期で、アトキンソン（『21世紀の資本』のトマ・ピケティの指導教授）の不平等尺度の解説を行った現在「内閣官房参与」浜田宏一教授の本に、「次のテーマは所得分配」という言葉に触れ、所得再分配に以前から興味を持っていたこともあり、研究の根底には所得再分配を所得分配の公平性と資源配分の効率性という観点から、いかにバランスさせるかがあり、常に、クール？な「頭」とややウオーム？な「心」でこれまでやってきました。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

これまでその都度関心があるテーマをやってきましたが、これまで行ってきたテーマをもう一度確認したいという気持ちがあり、新たな発見・理解を求めて、所得税と労働意欲を論じた最適累進度の最近の研究成果、消費税の非課税対象の是非およびその国際課税における課題。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

大学3年（吹田で『万博』が開催）の時、1年間新聞配達をし、ヨーロッパに2週間旅行したこと。雪が降り、やや凍り付いた冬朝早い「新宿通り」で新聞を山積みした自転車ごとこけ、後ろを走っていた大型ダンプの運転手に助けってもらったこと、現在の「防衛省」での三島由紀夫割腹事件報道のため最終版が遅れ、配達が終わったのが20時近かったこと。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

書斎の整理、趣味のオーディオのチェック（PCオーディオ、ハイレゾ・DSD音源、特にマルチチャンネル録音のSACDに最近関心を持っています）、ショッピングと散歩。誰もいないと思われる9号館（実際どの階にも、どなたかがいるみたいですか？）研究室で、講義の準備、研究、掃除です。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

ゼミIで自己のテーマを見出せない学生に読ませた、岩波新書の『読書力』と、ちくま新書の『現代語訳 学問のすすめ』。それに角川ソフィア文庫の『新版 徒然草』です。読めばなぜ勧めるか、わかると思います。

7. 新入生に一言お願いします。

遊ぶ金のためだけのバイトはしないこと。経済的な特別な理由を除いて、講義期間中アルバイトは週3日まで。一生その時々と与えられた条件の下で文章を書く必要性に迫られるものです。そのためにも本を読むこと、次第に文章は書けるようになるものです。大学生活は短いです。将来の目標を早めに設定し、それに向けて、計画を立て、我慢強く努力すること。人生その繰り返しです。



小山 直樹（こやま なおき）

名古屋市立大学大学院経済学研究科博士
課程後期課程修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

授業改善アンケートデータの分析を行っています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

甲南大学では、授業改善アンケートをもう何年も実施していますが、アンケートデータをアカデミックに研究して有効に活用したという話を聞いたことがありません。こんな勿体ないことはないと思ったことがきっかけです。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

授業改善アンケートデータの分析の延長上で、カテゴリカルデータの分析について、考察してみたい課題があります。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

ゼミの卒業旅行で、冬の温泉に行きました。雪見酒は飲みませんでした。雪見しながら温泉を堪能したのは良い思い出です。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

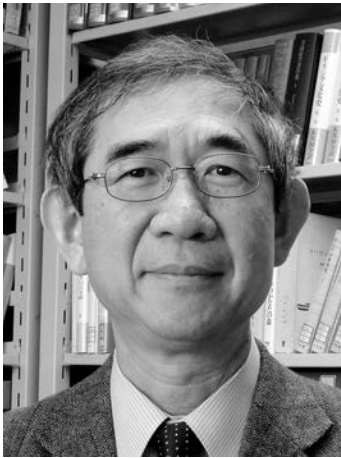
本屋さんを巡って、おもしろそうな新刊本をさがします。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

お勧めというより、ぜひ読破に挑戦して欲しい本は、トールキンの『指輪物語』です。とんでもなく長い物語ですが、大変におもしろいので、最後まで飽きずに読み通せると思います。

7. 新入生に一言お願いします。

マイペースで行こう！



杉村芳美（すぎむら よしみ）

東京大学経済学部卒業
東京大学大学院経済学研究科
理論経済学専攻博士課程
単位取得満期退学

1. 先生の研究テーマは何ですか？

経済体制を、社会の中にある経済という視点から研究しています。
なかでも、歴史や文化の中での労働・仕事についての意識や制度の在り方に興味があります。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

大学院時代に読んだ書物、接した先生方、友人たちの影響を受けて、
経済を広く社会・文化・歴史の中で考えるということに大きな魅力を感じました。
関心の対象が広がり、経済の世界の見え方もより深くなったと思います。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

かつてアメリカに滞在したとき、働くアメリカ人の姿が印象的でした。
彼らの働き方を支えているものは何か、日本人のそれ比較しながら考えたいと思ってきました。
アメリカ人だけでなく、あらゆる国の人々について同様に思います。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

1年次から2年次にかけての寮生活です。キャンパスの中にある学生寮で5人の共同部屋、上級生をふくめていろいろな地方から東京へ出て来た学生たちと、いっしょに生活しました。毎日の生活そのものが、サークル活動のようなもので、聞くこと、することがすべて新鮮で、得難い経験になりました。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

家や外で仕事があるとき以外は、家族と過ごす時間が長いですね。家の中の雑用をしたり、どこかに出かけたりです。買い物にもつきあいます。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

新書を3冊上げます。

① 齋藤 孝『読書力』岩波新書、2002年

本を読む意味を、読むことでつかんでください。

② 梅田望夫『ウェブ時代をゆく』ちくま新書、2007年

この時代を生きてゆく一つのヒントが得られるでしょう。

③ 猪木武徳『戦後世界経済史』中公新書、2009年

今の世界がどのようにしてこうあるのかを知ることができます。

7. 新入生に一言お願いします。

自己を成長させる貴重な4年間になります。いろいろな考えに触れ、いろいろな世代と交流をもち、自分の世界を広げてください。できたら、留学にもチャレンジしてほしい。ぜひ、将来のために時間を費やしてください。



柘植 隆宏 (つげ たかひろ)

1976 年生まれ

神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

環境経済学です。環境にはお金で測るといくらかの価値があるのか、といったことを研究しています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

自然豊かな田舎で生まれ育ちましたし、大学でもアウトドアサークルで日常的に自然と触れ合っていましたので、環境問題には関心がありました。大学3年生のときに、経済学でも環境問題を扱える分野があると知り、環境経済学を勉強し始めました。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

いつかフィールド実験をやってみたいと思っています。Uri・Neezyer、ジョン・A・リスト著、望月衛訳『その問題、経済学で解決できます。』（東洋経済新報社、2014年）の著者のジョン・A・リストのようなエキサイティングな研究がしてみたいです。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

アウトドアサークルの副会長をしていましたので、サークル中心の学生生活を送っていました。週末ごとに、仲間とキャンプ、川下り、洞窟探検などをしたことが一番の思い出です。夏休みや春休みに、バックパックを背負って外国を一人旅したこともいい思い出です。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

仕事の都合で平日は別々に住んでいる奥さんと一緒に過ごします。2人で買い物に行ったり、ごはんを作ったりします。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

最近出版された本では、坂井豊貴著『多数決を疑う—社会的選択理論とは何か』(岩波書店、2015年)がお勧めです。この本を読んで、現在の政治について考えてみてください。

7. 新入生に一言お願いします。

いま、みなさんが思っている「自分の適性」や「自分の限界」は、意外とあてになりません。自分自身を正しく理解するためにも、学生時代にいろいろな経験をしてください。



筒井義郎 (つつい よしろう)

1950年生まれ。東京教育大学(理学部物理学科)、大阪市立大学(経済学部夜間)卒。経済学博士。理科の高校教員を経て名古屋市立大学、大阪大学で金融と行動経済学を教えていました。

1. 先生の研究テーマは何ですか？

行動経済学、幸福の経済学、地域金融、株価が主たる研究領域です。最近、幸福の経済学の研究を多くやっています。なかでも、結婚や出産をする人に対するアンケート調査はここ3年続けてやっていました。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

だいたい、思いつきで、始めることが多いです。ちょっと誰かから聞いたり、論文や本に載っていることからヒントを得ることが多いです。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

もう、あまり案が浮かんでこないのですが、やりかけの研究がたくさん残っていますので、それを片付けようと思っています。やはり、幸福度関係の研究が多いのですが、地方銀行を対象とした効率性仮説とか、中国と他国との株価の伝播とか、金融関係もあります。最近、水産学の先生と一緒に研究も始めました。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

沢山あります。第1は、試験ができなくて苦しんでいた思い出ですね。つらいです。それから、入学の一年目が学生のストライキで授業が一年間なかったことです。2年目は、大学側のロックアウトで、やはり1年間授業がありませんでした。すごい時代でした。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

ジムの会員なので、なるべく、土日のどちらかには行くようにしています。健康のため。また、月に一回演奏会。月に一回研究会。そして、ときどき映画や散歩に行きます。そのほか、時間があれば、DVDでドラマやオペラを見ています。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

本はあまり読まないのですが、最近、宮部みゆきさんの本に凝っています。たくさんの登場人物が、それぞれ主人公のように出てくるのが特徴ですね。別の本にも登場したりして。バルザックの人間喜劇みたいなところがあります。それから、中公新書に、明治維新関係の本がたくさん出ているのを知り、少しずつ読んでいます(古本で買えます)。面白いですよ！お手軽ですし。

7. 新入生に一言お願いします。

若いっていいですね。うらやましいです。



寺尾 建 (てらお・たける)

1991年 京都大学経済学部 卒業

1996年 京都大学大学院経済学研究科 修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

——「マクロ経済理論の基礎づけ」です。なぜ景気は良くなったり悪くなったりを繰り返すのか。経済が成長するのは、あるいは、成長しないのはなぜなのか。そのような問題を解明するための一通りの道具を揃えることを目標として研究を行っています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

——「経済」は、人々がやっていることの結果であるはずなのに、人々がそうやってほしいと思うような結果にはならないことが少なくありません。「人々が思っていることとやっていることとは違う」ということはたまたまではないかもしれず、したがって、そのことを明らかにすることは人類にとって重要であると考えます。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

——関心があることは、「日常的に繰り返し観察され、そして、今後も繰り返され続けると考えられるようなことで、しかし、なぜそうなるのかとあらためて問われるとよくわからないような現象」です。たとえば、この世界から「市場」というものがなくなるということはないと思われませんが、しかし、「市場」というものがほんとうのところどのような役割を果たしており、逆に、どのような役割は果たしていないのかというと、よくわかっていないことが少なくありません。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

——一人暮らしをしていたマンションでのこと。12月のある日、朝6時から爆音で音楽を聴いていました。玄関のチャイムが鳴りました。こんな時間に誰だろうとドアを開けると、鬼のような形相をした女の人が立っていました。「あんた一人で住んでんのと、ちゃうんやで！」下の階に住んでいる人でした。平謝りをして、お引取りいただきました。同じ日の夕方のこと。買い物に行ったデパートで、ぼくの顔を見るなり、店員さんが「あっ！」と声をあげました。朝に会った女の人でした。いまこの文章を書いているのは12月なのですが、毎年この季節になると、ふと思い出す出来事です。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

——iPod用のプレイリストを作成しています。毎回、「聴くのが自分だけなのは、もったいないなあ」と思いながらも、時間を忘れて作業に没頭してしまいます。ちなみに、これまでにつくったもので最長のプレイリストは9時間を超えるものですが、これは、ぼくを含めた3人で聴きました。2014年8月のことです。とても楽しかったです。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

——司馬遼太郎『二十一世紀に生きる君たちへ』（世界文化社、2001年）。小学校の国語の教科書に掲載された文章なので、読んだことがある人もいるかもしれませんが、大学に入学したこの時期に、あらためて読んでみてほしいと思います。あわせて収録されている「洪庵のたいまつ」という文章も、新入生のみなさんに強くお勧めします。

7. 新入生に一言お願いします。

——能力や時間には限界がありますが、意志や情熱には限界はありません。自分のことも含めて、人のことを大切にしてくださいね。



中島清貴（なかしま きよたか）

大阪大学経済学研究科博士後期課程修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

最近、銀行と借入企業のマッチングデータ（どの銀行がどの企業にどれだけの貸出を行っているかに関するデータ）を利用して、銀行と借入企業の相互依存関係の観点から金融システムの安定化と銀行貸出の問題を研究しています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

これまでは、銀行側や企業側だけの情報を利用して金融システムの実証分析をすることが一般的でした。しかし、銀行側や企業側だけの情報を利用した分析では、供給要因（銀行側の要因）と需要要因（借入企業側の要因）を同時にコントロールできないので、銀行貸出や企業投資の増減がどちら側の要因によってもたらされたのかについて見極めるのが簡単ではありません。「公的資金注入政策を含む金融システムへの政策効果をちゃんと見極めるためには、両方の要因を同時にコントロールできるマッチングデータを利用しないと何も見えてこないなあ」と考えたことが今やっている研究に至ったきっかけです。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

来年度中にマッチングデータを利用した一連のプロジェクトに目途を立て、そのあとは、経済学だけでなく社会学や法学の研究者と一緒に家族に関する経済分析（特に、家族法の経済分析）をやる予定です。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

いろいろとあるのですが、今の僕が懐かしく思い出せることとしては、月2万円のおんぼろアパートで一人暮らしをしていた日々です。友人を家に呼んでお酒を飲んだり、夜中にゴキブリと格闘しながら、いろいろな意味で自分を成長させる良いきっかけになったと思います。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

研究をしているか、プールに行っているか、サウナに行っているか、お酒を飲んでいるかのどれかだと思います。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

高校3年生のゴールデンウィークまで、僕は漫画の本しか読んでことがありませんでした。ゴールデンウィークが終わる頃、本屋で偶然手に取った村上春樹の小説、『世界の終りとハードボイルドワンダーランド』の読了後、「自分の目にしている世界」が変わったような気がしました。同じような経験を求めてその後、様々な本を読み漁りましたが、本を読む量に比例して、高校にあまり行かなくなり、大阪の中之島図書館に行くようになりました。次に、僕に同じような経験を与えてくれた本は、大学生の時に読んだ、安部公房の評論『内なる境界』と『終わりし道の標に』という小説です。この2冊は、読了後、「もう来るとこまで来たな」という感覚とともに「自分の足で立ってこの世界で生きて行くんだ」という気概を当時の僕に与えてくれた本です。

7. 新入生に一言お願いします。

「たかが大学、されど大学」です。大学に過度な期待をすることなく、かといって何の価値も無いと斜に構えるのでもなく、皆さん1人1人にとっての使い勝手なり価値を見出してください。



林 健太（はやし けんた）

本山第三小 → 本山中 → 報徳学園高 →
神戸商科大学 商経学部 管理科学科 →
大阪大学 大学院 国際公共政策研究科

1. 先生の研究テーマは何ですか？

これまでインターネット関連産業のあり方や課題について、主にハードウェアやインフラの普及という側面から研究をしてきました。現在は、どちらかといえばソフトウェア（コンテンツ）の方に関心があります。とりわけ、観光というものを幅広い意味でのコンテンツの一つと捉えて、日本へのカジノ導入のあり方や、情報通信技術をどう観光と結びつけるのが望ましいか等について調査・研究しています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

2009年秋から1年間、アメリカ西海岸の UC Berkeley に留学したことが転機となりました。それまで、日本には優秀な技術があるので、うまくやればITで経済を盛り上げられるはずだと考えていましたが、Google や Apple といった企業の勢いを現地で体感して、これは難しいかもと悟り、今までやってきたこととは違う何かを研究してみようと、ラスベガスに逃避をしたのが、現在の研究を始めたきっかけです。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

スポーツビジネス、音楽関連ビジネス、ゲーム業界など、コラボして研究してみたい分野はたくさんあります。それぞれ10年ずつくらいかけて研究できれば、退職する頃に達成感はあるかなと思っています。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

大学2年生だった1995年に、人生を変える2つの大きな出来事に遭遇しました。一つは阪神・淡路大震災、もう一つはWindows 95の発売です。震災を経験したことで、「人生は一度きり、自分の望むように生きてみよう」と強く思うようになりました。またWindows 95登場によるインターネット普及の初期段階に立ち会えたことは、私の研究者人生の原点ですから、本当に幸運だったと思います。でも、一番の思い出と問われると・・・生まれて初めて告白して、見事に撃沈した私を慮って、友人たちが六甲山に夜景を見に連れて行ってくれたことですかね。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

10年以上ずっと、ヴィッセル神戸の試合の年間パスを購入しているので、試合のある週末は可能な限りスタジアムに足を運びたい・・・のですが、子供が生まれてからはそれもなかなか難しく、TV観戦が多くなっています。空き時間は、サッカー観戦、ゲーム、子供と遊ぶ、海外旅行のいずれかをしていることが多いです。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

研究分野的には、

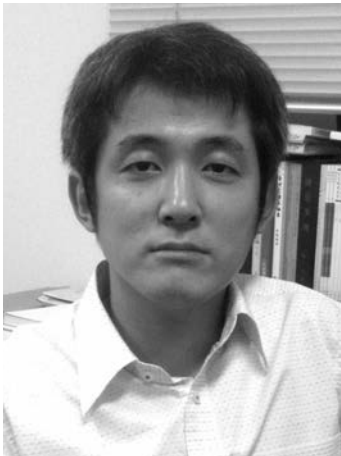
- ・イーライ・パリサー著『閉じこもるインターネット』（早川書房）

個人的趣味としては、

- ・ロバート・キヨサキ著『金持ち父さん貧乏父さん』（筑摩書房）

7. 新入生に一言お願いします。

インターネットで何でも情報が取れる時代に、あえてコストをかけて大学に通う意味をよく考えて、4年間を過ごしていただきたいと思います。皆さんの大学生活が少しでも豊かになるお手伝いが出来れば幸いです。



平井健介（ひらい けんすけ）

慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程修了。博士（経済学）。

1. 先生の研究テーマは何ですか？

アジア経済史・日本植民地経済史。日本植民地（台湾や朝鮮）の経済について研究しています。これらの地域は、日本の政策によって「発展」したと言われていますが、私は、日本の政策に現地の人々がどのように対応することで「発展」が可能となっていたのか、他のアジア地域の経済は「発展」にどのように関係したのかを分析しています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

台湾や韓国の経済成長は日本による支配のおかげだという議論をしばしば耳にします。私は、大学のゼミでアジア経済史を勉強していましたが、その議論の正否について説明できませんでした。それがくやしかったので、自分で勉強することにしました。「説明することができない」は、研究する動機として充分です。みなさんも、説明できないことをたくさん見つけて研究してください。それが大学生の勉強であり、存在意義です。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

日本植民地のエネルギー問題。植民地経済は急速に成長しましたが、その成長を達成する過程で、どのようなエネルギー問題に直面し、それはどのように克服されていったのかを知りたいです。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

- ・1年生の春学期の履修登録。「自己責任」の意味を知った。
- ・入ゼミ面接。いわゆる圧迫面接で、無能な自分に愕然とした。
- ・ゼミの友人の一言。「歴史を勉強したなら選挙に行け。」
 - ・友達と行った台湾。植民地を研究するきっかけになった。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

散歩。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

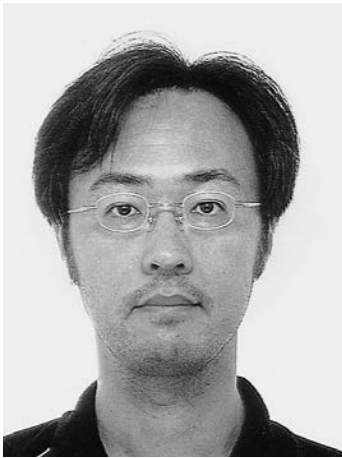
福澤諭吉の『学問のすすめ』（現代語訳版がたくさんでています）。

7. 新入生に一言お願いします。

尚一言すべきは諸君が考ふることなり。

何事をなすにも考ふることなり。

(甲南高校第3周年記念式典で平生鈞三郎が生徒に向かって)



村澤 康友 (むらさわ やすとも)

京都大学経済学部卒、同経済学研究科修士課程修了、(株)三菱総合研究所勤務、ペンシルベニア大学経済学研究科博士課程修了、京都大学経済研究所講師、大阪府立大学経済学部助教授・教授を経て現職

1. 先生の研究テーマは何ですか？

景気の計測

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

会社員時代に景気予測の仕事をしていたから

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

経済学教育の実証研究

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

中国一人旅

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

好きな CD を聞きながら囲碁・将棋の勉強
ケーブル TV の映画チャンネルで映画鑑賞
機械いじり
料理

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

小林よしのり「ゴーマニズム宣言」シリーズ

7. 新入生に一言お願いします。

いろんな経験をして下さい。それが人生の財産です。



森 剛志 (もり・たけし)

1970 年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了(博士号取得)。日本学術振興会特別研究員を経て、甲南大学経済学部教員。主な著書「日本のお金持ち研究」(共著)。

1. 先生の研究テーマは何ですか？

家計の経済、労働経済、社会保障

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

これから重要になると思ったから。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

医療経済、行動経済学

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

私は、学生時代、タイ・マレーシア・シンガポール・インド・ネパール・アメリカなど世界各地を転々と旅行しました。時間とお金があれば旅をしていました。自分探しをしていたのです。その時に見た、美しい夜空。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

家族とすごす。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

森剛志・後藤励『日本のお医者さん研究』（東洋経済新報社）

7. 新入生に一言お願いします。

人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを。そして少しの勇気と情熱を！

ハングリーであれ！バカであれ！



森本 裕（もりもと ゆう）

1988年生

京都大学経済学研究科博士課程 修了

1. 先生の研究テーマは何ですか？

「航空産業と航空政策」

特に、航空ネットワークの形成を研究しています。近年は、ハブ・スポーク型ネットワークとって、大規模な空港を中心としたネットワークの形成が進んでいます。中心となるべく、各国の主要空港（例：日本の成田 V.S. 韓国の仁川）が競争しているのですが、競争に勝ち残るにはどうすればいいかを考えています。

2. そのテーマを研究しようとしたきっかけは何ですか？

たまたま、先輩と一緒に研究するように誘われたのがきっかけです。交通は身近な問題なので、意外と面白く感じられ、今でも続けています。

3. 今後研究してみたいと思うテーマはありますか？

今までとはテーマががらりと変わるのですが、地域間格差について研究したいと思っています。交通投資（高速道路や新幹線の建設）をすると地方が活性化すると言われていますが、実際には、消費が大都市に流出することもあります。なので、交通網の整備が何を引き起こすのかを過去のデータを使って調査したいと思っています。

4. 先生ご自身の大学在学中での一番の思い出は何ですか？

大学院での話になりますが、海外の学会で発表したことです。英語でしっかり話すのはじめてだったので、事前に原稿まで作ってかなり練習しました。

アメリカはもちろん、中国・エチオピア・イタリアと各国からの参加者がいて、世界中の人と研究の話をできたのが思い出に残っています。

5. 休日などのフリーな時間は何をされていますか？

街を見て歩くことが多いです。もともと、都市経済学に興味があったので、ビルの新築や再開発が行われているとワクワクします。北ヤードがグランフロントに変わって、街が発展していくのを見るのが好きです。

6. 新入生に読んでもらいたい、お勧めの本を教えてください。

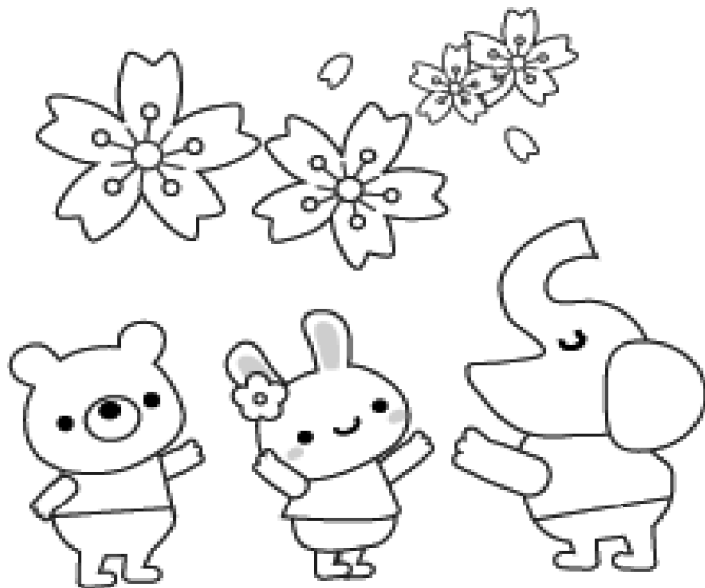
トマ・ピケッティの「21世紀の資本」です。全体で700ページほどあるのですが、読み切ると達成感があります。戦前からのデータを使って、格差の変遷を実証しています。これから格差は拡大するのか？拡大するとして、どのような対策が必要なのか？これらの問いに対して、統計を用いて論理的に解決策を示しています。

7. 新入生に一言お願いします。

何か一つ、「自分にしかできないこと」「自分しか知らないこと」を作ってください。NO.1があれば、就活も上手くいくでしょうし、社会人になってからも重宝されるでしょう。



新入生への メッセージ



「新入生の皆さんへ」

2015年度卒業生

林ゼミナール 菊池敬介

新入生の皆さん。ご入学誠におめでとうございます。ようこそ甲南大学経済学部へ。今回入学される皆さんにメッセージをと依頼を受けこのように文書で皆さんに卒業生としてメッセージを送ります。

皆さんは今、この「入門のしおり」を手にし、これからの大学生活どうなるのだろうかと不安に思っている人がほとんどだと思います。私も同じでした。2012年4月同じようにこのしおりを手にし、同じように不安になっていました。しかし「最高の仲間と出会うこと」で不安は楽しみになります。私は経済学会に所属し、素晴らしい先輩方や頼もしい後輩に出会い、充実した楽しい4年間を過ごしました。またゼミナールなどの授業でたくさんの仲間もできました。大学で出会った仲間は一生の仲間になると思います。ご飯に行ったり、お酒を飲みに行ったり、また旅行に行ったりと私自身も本当に楽しかったです。ぜひこの4年間で最高の仲間を作ってください。

さて、皆さんの周りには大学へは進学せず就職した方もいるでしょう。歴代の先輩もこのメッセージで述べられていましたが、私たちは「働く」という選択肢ではなく「学生」を選択しました。私たちは社会の荒波のかわりに「4年間の自由」をもらいました。この「4年間の自由」をぜひフル活用してほしいと思います。経済の勉強をすることはもちろんですが、それ以上に部活動やサークルに専念したり、長い休みを利用して仲間と旅行したりと大学での4年間をフルに活用し楽しんでください。大学で学ぶことは経済の勉強だけではありません。むしろ部活動や旅行をする方がより大切なものを学べるかもしれません。

最後に、皆さんの大学生活がよりよいものとなり、楽しい4年間になりますように・・・

「自分の意志を見つける大切な時期」

2013 年度卒業 永廣ゼミ所属 岩淵 祥太

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。卒業生として心からお祝い申し上げます。これから皆様が過ごされる大学生活は人生の中で最も貴重でかけがえのない時期だと私は思います。甲南大学での大学生活を振り返りながら新入生の皆様へメッセージをお伝えさせて頂ければと思います。

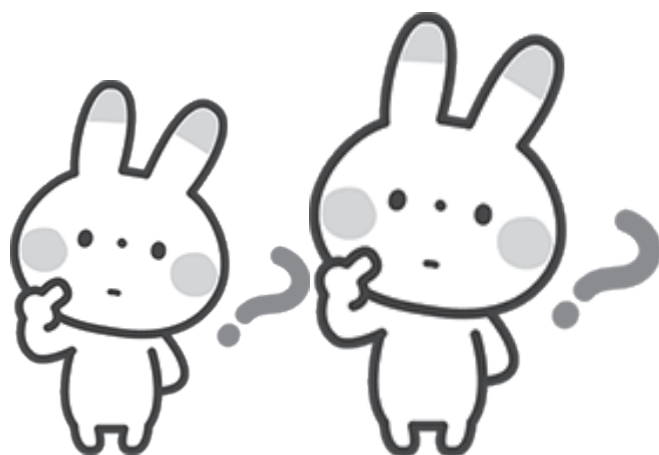
私は甲南大学に入学するまで自分の“意志”で何かに挑戦した覚えが全くありませんでした。周囲の環境や言葉に影響されて行動するような「受身の姿勢」を持った人間でした。大学進学理由も高校3年生を迎え、無駄に時間もあるし周りの友達が受験勉強しているから自分もやってみるかという考えでした。(今となっては物凄く恥ずかしい話です。)

そのような自分を大きく変えたのが甲南大学経済学部での4年間でした。興味や関心を抱いたことに好きだけ取り組むことができ、それを受け入れてくれる人や環境が甲南大学にはあります。今までとは違い一方的に教えられるのではなく、一緒に考えお互いの意見をぶつけることのできる自由な雰囲気に大きな刺激を受けました。積極的に講義やゼミ活動に参加し、素敵な知識や個性を持った人たちと出会い、多くのことを学びました。甲南大学での生活で自分なりに“意志”を見つけて行動することができた結果の一つだったのかなと今になって思います。

皆様も大学生活の中で興味や関心を抱いた事には迷わず一歩踏み出してみてください。“意志”を見つけて行動することで周囲を取り巻く環境が大きく変化し、かけがえのない経験を得ることができると思います。甲南大学で様々な趣味や尊敬できる友人や先生を見つけ、素敵な人と出会ってくださいね。そして思う存分大学生活を満喫してください。



新入生の
みなさんへ





甲南大学経済学会について

経済学会とは？

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。甲南大学経済学部
に入学した皆さんは、同時に「甲南大学経済学会」の会員となりました。
甲南大学経済学会とは専任教員・経済学部学生・大学院学生で構
成されています。経済学会は、経済学部教員・学生と相互にコミュニ
ケーションをとりながら、皆さんがより良い大学生活を送れるように
日々活動しています。

新入生の皆さん、ぜひ大いに活用して下さい。

学生評議員・学生スタッフ

それぞれ役職を決めた、学生評議員と学生スタッフが共同で活動し
ています。先輩・後輩同士でも気軽に会話ができる、とても和やかな
雰囲気です。

定期的に評議員会を開きます。この場では教員評議員・学生評議員
が企画内容等について意見を交換します。

主な活動内容

・総会

毎年5月下旬に開かれます。今年度の活動方針・予算・評議員を決めるための大切な会です。みなさんの意見を聞くことが目的の1つであるので、「経済学会 会員」は原則出席となっています。

・講演会

前年度は前期に兵庫県警察本部サイバー犯罪対策課の山本様を、後期に財務省主税局調査課課長補佐の浅賀様をお呼びしました。

・ゼミ紹介（2回生以上対象）

後期から始まるゼミⅠを選択する際の参考になります。参加できなかった人は、コモンルームでビデオを見ることができます。

・社会見学

工場・会社に見学へ行きます。現場に足を運ぶからこそ学べるものがたくさんあります。前年度は「大阪取引所」と「読売テレビ」へ行きました。経済学部生であれば誰でも参加できます。

・経済学部インナーゼミナール大会

ゼミでの研究成果を発表する大会です。甲南大学経済学会で企画・運営する甲南大学経済学会の最大の行事です。

発表は誰でも見ることができます。2回生から本格化する『ゼミ』を知るためにもぜひ参考にして下さい。

経済学会に興味がある、もっと詳しいことが知りたい!!という方は

まずはコモンルームへ！！

5号館5F(5505)へ来てみて下さい。経済学部生専用のポット・電子レンジ・パソコンがあります。

4月は時間割作成に関する質問にもお答えします。コモンルームに在室している評議員・スタッフに気軽に声をかけて下さい。また、HPもご覧下さい。

http://www.konan-u.ac.jp/hp/econ_keizaigakkai/

開室中は常時ドアを開けています。とてもオープンな雰囲気ですので、ぜひ一度経済コモンルームへ!!

経済学会評議員募集！！

経済学会では一回生の新しい評議員を募集しています。

ここでは経済学会会員がよりよい大学生活を過ごすことができるように、会員代表としてさまざまなサポートを行っています。また、数々の行事を開催しています。

評議員に興味がある方、大学に入って何か挑戦してみたい方、何かを企画、運営することが好きな方はぜひ一度気軽に見学にいらしてください。

興味のある方は一度5号館5階にある
経済コモンルームに！

I 論文の要件

- (1) 原則、ワープロ書きに限る。
- (2) A4用紙、横書き（縦置き）、40字×36行/頁。
- (3) 分量は12頁以上20頁以下（題目・目次・図表・アンケート票等の付録類を含む）。
- (4) 日本語は明朝（全角）、英数字はTimes New Roman（半角）、共に10.5ポイントのフォントを用いること。
- (5) 論文は未発表作で、一人一作（共著の場合も含む）。

II 表紙

- (1) 表紙に記載することは
 - (a) 題目
 - (b) 目次（章のみ）
- (2) 審査は匿名で行うので、氏名・ゼミ名・学年は、表紙及び本文には記載せず、別紙に記入して添付すること。

III 章・節などのナンバリング

- (1) ナンバリングは以下に従うこと。
 - (a) ローマ数字 [I、II、III、……]
 - (b) 算用数字 [(1)、(2)、(3)、……]
 - (c) ローマ字 [(a)、(b)、(c)、……]
- (例) I 変動相場制下の経営収支均衡と国際資本移動
 - (1) 1970年代の経常収支不均衡と国際資本移動
 - (a) 1970年代の経常収支不均衡

IV 脚注ならびに引用

- (1) 脚注の付け方
 - (a) 文章の右上に数字を振り、論文の最後に全てまとめ「文末脚注」とする。
(例) 問題は、市外社会から市内社会に支払われるアクセスチャージによって解消している¹⁾。
 - (b) 脚注の数字の付け方は、算用数字1、2、3……に統一し、(注1)、(注2)、(注3)……等としない。
- (2) 引用の仕方
 - (a) 文献から文章等を引用する場合には必ず「」を付け、著者名・文献名・出版社・出版年・掲載頁数等を脚注等で必ず明記すること。文献を要約して引用する場合も同様とする。

(3) 引用した文献の記載の仕方

(a) 書籍の場合

著者名『書籍名』（出版社名、刊行年（西暦）、頁）

（例）宮島洋『税のしくみ』（岩波書店、1992年、32頁）

(b) 雑誌に掲載された論文の場合

著者名「論文名」（『雑誌名』、巻・号、頁）

（例）宮尾尊弘「価格破壊は日本を救うか」（『エコノミスト』、第72巻32号、30頁）

(c) 書籍に収録された論文の場合

著者名「論文名」（書籍の編者名・『書籍名』、出版社名、刊行年（西暦）、頁）

（例）上島康弘「第3章 格差社会を生むもの」（広田照幸・川西琢也編、『こんなに役立つ数学入門－高校数学で解く社会問題』、2007年、81頁）

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」（URL、公表年月（西暦））

（例）青木浩治「国際経済学」（<http://www.eco.konan-u.ac.jp/home/gakkai/index.html>、2010年7月）

V 参考文献

(1) 論文作成のために使用した文献は「参考文献」とする。「参考文献」は、論文・文末脚注の後にまとめる。

(2) 記載の仕方

(a) 書籍の場合

著者名『書籍名』（出版社名、刊行年（西暦））

（例）宮島洋『税のしくみ』（岩波書店、1992年）

(b) 雑誌に掲載された論文の場合

著者名「論文名」（『雑誌名』、巻・号）

（例）宮尾尊弘「価格破壊は日本を救うか」（『エコノミスト』、第72巻32号）

(c) 書籍に収録された論文の場合

著者名「論文名」（書籍の編者名・『書籍名』、出版社名、刊行年（西暦））

（例）上島康弘「第3章 格差社会を生むもの」（広田照幸・川西琢也編『こんなに役立つ数学入門－高校数学で解く社会問題』、2007年）

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」（URL、公表年月（西暦））

（例）青木浩治「国際経済学」（<http://www.eco.konan-u.ac.jp/home/gakkai/index.html>、2010年7月）

VI 図・表の記載

(1) 出典を必ず明記すること（製本の際、原典を印刷するため）。

(2) 必ず通し番号を付けること（表1、表2、図1、図2等）。

VIII 提出方法

原稿は3部印刷し、経済学会コモンルームに提出すること。同時に原稿の電子ファイルを添付したメールを経済学会コモンルーム（gakkai@center.konan-u.ac.jp）宛に送信すること。

*疑問点等がある場合には、経済学会コモンルーム（gakkai@center.konan-u.ac.jp;078-431-4341〔内線 3034〕）迄お問い合わせ下さい。

甲南大学経済学会会則

昭和 35 年 2 月 24 日	制定承認
昭和 41 年 12 月 14 日	改正承認
昭和 44 年 10 月 16 日	経済学会集会改正承認
昭和 49 年 5 月 16 日	経済学会総会改正承認
昭和 52 年 5 月 18 日	経済学会総会改正承認
昭和 58 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 2 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 3 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 4 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認
平成 6 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 8 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 9 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 13 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 15 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 16 年 5 月 26 日	経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認

第 1 条 本会は、甲南大学経済学会と称し、事務所を甲南大学経済学部内におく。

第 2 条 本会は、全員加盟を原則とする。甲南大学経済学部の専任教員・学生（EBA 総合コースの学生を除く）・大学院学生・卒業生のうち入会を希望する者、その他本会評議員会において入会を認めた者をもって組織する。会費については以下のとおり。なお、納入した会費は、理由のいかんを問わず返還しない。ただし、学生会員として会費を納めた者で入学を辞退した者についてはこの限りではない。

教 員	年 会 費	5,000 円
学 部 学 生	会 費（在学期間）	20,000 円
大学院学生	会 費（在学期間）	10,000 円

又、卒業学生会員の権利および義務については、別に細則を定めるものとする。

第 3 条 本会は、経済学の研究ならびに普及をもって目的とする。

第 4 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究会
2. 学術講演会
3. 甲南経済学論集および経済学学生論集の発行
4. 学会新聞の発行
5. 研究・教育資料の収集・管理
6. インナーゼミナール大会の開催
7. 専任教員研究書刊行助成
8. その他本会の目的を達成するために必要と認める事項

第 5 条 本会の最高議決機関として総会を置く。本会の予算と決算は総会の承認を得なければならぬ。総会規程は別に定める。

第 6 条 総会は、本会の事業を運営するために評議員を選出する。評議員会は、経済学部長を含む専任教員 8 名、学生 8 名以上 20 名以下により構成され、任期は 1 年とする。評議員会規程は別に定める。

第 7 条 評議員長は経済学部長が兼任する。評議員長は本会を代表し、総会および評議員会を招集する。

第 8 条 評議員会は互選により次の役員を選出する。

1. 総務委員（教員 1 名学生 1 名ないし 2 名）は、評議員間の連絡・調整にあたり、評議員会の事務を統括するとともに、本会の事業の記録を作成する。
2. 会計委員（教員 1 名学生 1 名ないし 2 名）は、本会の事業経費を管理する。
3. 管財委員（教員 1 名学生 2 名ないし 3 名）は、研究・教育資料の収集を行う。
4. 編集委員（教員 2 名学生 2 名以上）は、甲南経済学論集、経済学学生論集、学会新聞等の定期刊行物の編集・発行にあたる。
5. 企画委員（教員 2 名学生 2 名以上）は、研究会、学術講演会、インナーゼミナール大会、その他本会の目的を達成するための事業を企画する。

なお、評議員会は必要に応じて会員の中から本会の活動に協力する実行委員を委嘱することができる。

第 9 条 評議員会は、本会の事業活動を円滑に行うための諮問・連絡機関としてゼミ委員会を招集することができる。

第 10 条 本会の事業とそれにとりまなう予算の執行を厳正・公平たらしめるべく、教員 1 名学生 1 名の監査委員を置く。監査委員は総会において選出され、任期は 1 年とする。

第 11 条 本会の経費は、会費・事業収入・寄付金および甲南大学からの助成金をもってこれにあてる。

第 12 条 本会則は、総会規程第 6 条に基づいて改正することができる。

総 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
平成 6 年 5 月 25 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 総会は、経済学会会員全員によって構成され、その決議はすべてに優先する。
- 第 2 条 原則として毎年 5 月に定期総会がもたれなければならない。
- 第 3 条 評議員長は、次の場合 2 週間以内に臨時総会を招集しなければならない。
1. 評議員会が必要と認めたとき
 2. 経済学部教員 2/3 以上の要求があったとき
 3. 学生会員 50 名以上の要求があったとき
 4. 卒業生会員 50 名以上の要求があったとき
- 第 4 条 総会は、卒業生会員を除く全会員の 1/5 以上の出席により成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。
- 第 5 条 総会の決議は、出席会員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。
- 第 6 条 経済学会会則の改正は、出席会員の 2/3 以上の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

評 議 員 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
昭和 52 年 5 月 18 日 経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日 経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日 経済学会総会改正承認
平成 22 年 5 月 19 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 評議員会は、経済学会会則に定められた事業の運営を行い、その事業を達成させるために評議員は評議員会に出席するよう努めなければならない。
- 第 2 条 評議員会は、次の事項について総会の承認を得なければならない。
1. 予算および決算
 2. 活動報告
 3. その他評議員会が必要と認めた事項

第3条 評議員長は、原則として毎月1回定期評議員会を招集しなければならない。

第4条 評議員長は、次の場合10日以内に臨時評議員会を招集しなければならない。

1. 評議員長が必要と認めたとき
2. 評議員3名以上が必要と認めたとき
3. 学生会員30名以上の要求があったとき
4. 卒業生会員30名以上の要求があったとき

第5条 評議員会は評議員の過半数をもって成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。

第6条 評議員の決議は、出席評議員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

卒業生会員細則

〔昭和52年5月18日 経済学会総会制定承認
平成20年5月28日 経済学会総会改正承認〕

第1条 甲南大学経済学部卒業生のうち、経済学会への入会を希望する者（以下「卒業生会員」とよぶ）は、氏名、卒業年度、現住所を経済学会評議員会に登録し、「卒業生会員証」の交付を受けるものとする。登録は卒業2カ月前からできるものとする。

第2条 経済学会への入会を引き続き希望する者は、毎年1月から3月末までの間に、登録の更新を行わなければならない。なお、卒業生会員は、現住所の変更をすみやかに評議員会に届け出なければならない。

第3条 卒業生会員は、登録またはその更新の際、会費年4,000円を納入しなければならない。ただし、2カ年以上の登録と会費納入を一括して行うことはできる。入会金納入の義務はない。

第4条 卒業生会員は、経済学会すべての事業に参加し、そのサービスを受けることができる。ただし、卒業生会員は、評議員に就任することはできず、また「総会規程」第4条にもとづいて総会での投票権をもたない。

第5条 本細則は、総会の決議によって改正することができる。